

令和6年度DX観光客動態調査事業

沖縄県

外国人観光客 行動歴分析レポート 2024年度1Q（4 - 6月）

2024年10月21日

発行 沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課

委託先 令和6年度DX観光客動態調査事業共同企業体
株式会社リクルートライフスタイル沖縄
株式会社ブログウォッチャー
公益財団法人九州経済調査協会

外国人観光客
行動歴分析レポート
2024年度1Q（4 - 6月）

目次

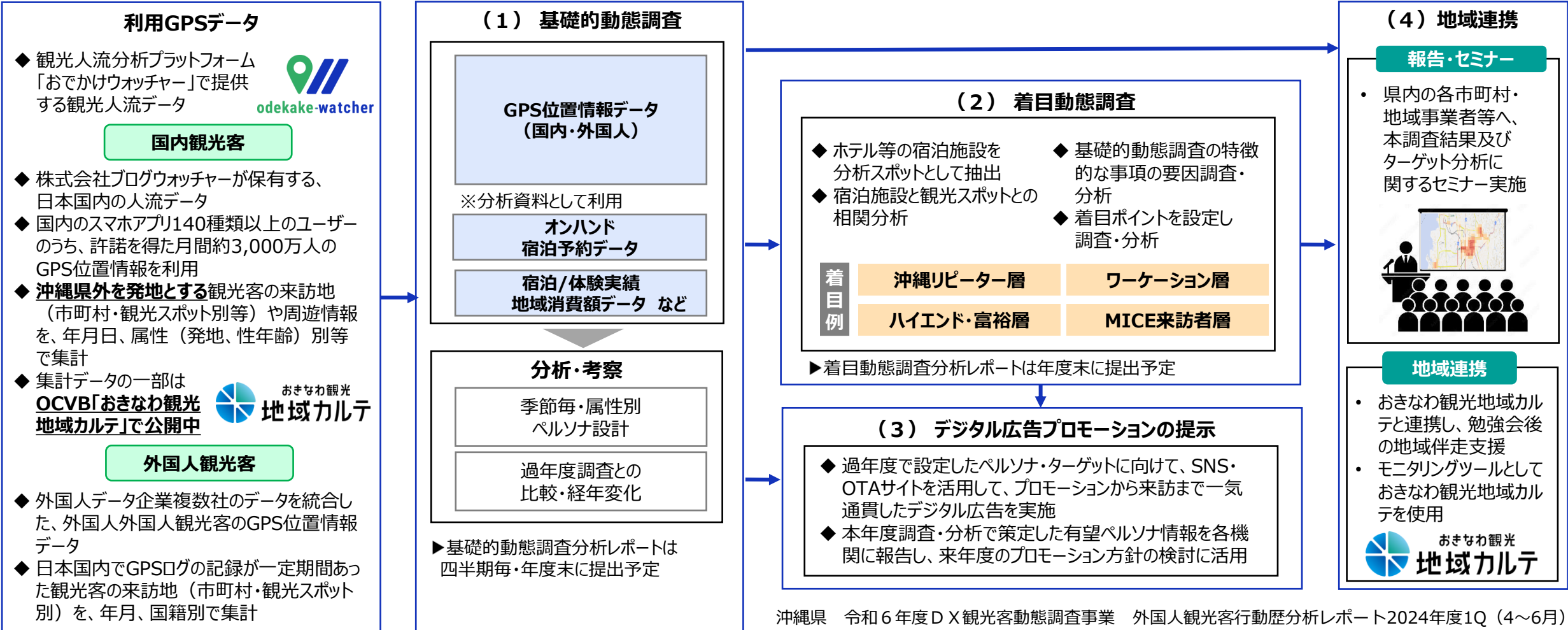
事業概要	3
使用する観光人流データについて	4
分析内容	8
分析結果サマリー	9
来訪分析	10
国・地域分析	19
観光スポット分析	29
滞在・移動ルート分析	40

事業の実施目的

本事業は、観光客の属性別に行動歴等を調査・分析することでそのニーズを把握し、ターゲットを明確にした誘客プロモーション、地域資源を活かした観光ツアーの造成や観光コンテンツの開発に活用するなど、ターゲットマーケティングの展開に繋げる。

これにより、安全・安心で快適な誰もが楽しめる沖縄観光を推進し、観光客の満足度向上、ひいては観光収入の増加を図ることを、本事業の目的とする。

事業フロー



エリア区分（県内）

北部	名護市、国頭村、大宜味村、東村、今帰仁村、本部町、恩納村、宜野座村、金武町、伊江村、伊平屋村、伊是名村
中部	宜野湾市、浦添市、沖縄市、うるま市、読谷村、嘉手納町、北谷町、北中城村、中城村、西原町
南部	那覇市、糸満市、豊見城市、南城市、与那原町、南風原町、渡嘉敷村、座間味村、粟国村、渡名喜村、南大東村、北大東村、久米島町、八重瀬町
離島	石垣市、宮古島市、多良間村、竹富町、与那国町

地理圏ブロック区分（来訪者国籍）

東アジア	韓国、中国、台湾、香港
東南アジア	タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム
欧米豪	イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、ロシア、ノルウェー、スウェーデン、フィンランド、デンマーク、アメリカ、カナダ、メキシコ、オーストラリア
その他地域	その他

注意事項

- 本レポートでは、**1日単位の来訪者数の月間の延べ数を掲載している**。その月に来訪した人数ではなく、その月の各日の来訪者数を合計した、延べの来訪者数となる
- **沖縄県・県エリア別来訪者数は、県（エリア）内市町村来訪者の延べ数を掲載している**
- 本レポートでは、**日本国内に連続20日以内の旅程で滞在する外国人を対象とする**
- データは、取得した位置情報データを基に拡大推計処理（日本政府観光局「外国人外客数」の年月・国籍別外国人外客数（推計値）を用いて拡大）を行っている
- 来訪人数が一定の基準を超えていない場合、数値の精度が低くなることもある
- **国籍「中国」のデータについては、中国政府によるアプリの利用制限上、中国国籍のGPSデータの取得が難しくサンプル数が少ないため、参考数値とする**。また、これに伴い、**「中国」の観光スポット・メッシュ別来訪者数の掲載を見合わせている**
- 端数処理の関係で、全体値と内訳の合計が一致しない、もしくは内訳構成比の計が100%とならない場合がある

使用されているデータ	外国人データ企業複数社のデータを統合した、外国人観光客のGPS位置情報データ ※データはスマートフォンアプリ利用者から個別に許諾を得て取得しており、個人を特定できない形式に加工して使用
集計対象とする旅程	日本国内の位置情報データが初めて記録された日を入国日、最後に記録された日を出国日とし、入国日から出国日が20日以内の旅程を外国人旅程と判定する ※日本国内の位置情報データ記録が7日以上空いた場合は、別旅程とみなす
国籍（国・地域）	スマートフォンアプリ登録情報等から取得したデータ
滞在日数（日本国内）	入国日（日本国内の位置情報データが初めて記録された日）から出国日（最後に記録された日）の間を、日本への滞在日数とする
月跨ぎ旅程の判定	月をまたぐ旅程の場合は、旅程開始日を基準として旅程の年月を判定する
観光スポット	日本観光振興協会「デジタル観光統計オープンデータ」にて指定したスポットのうち、2023年の外国人来訪者数が5,000人を上回った、もしくは「国内観光客行動歴分析レポート」にて集計対象とした県内113箇所の観光スポット ※ただし、個別の宿泊・リゾート施設、および国道・高速道路沿いなど通過交通で来訪者数が過剰に計上されうるスポットは対象外とする
来訪（市区町村）	市区町村の範囲内で位置情報ログが連続して2回以上記録された場合は、市区町村に滞在した来訪者とみなす
来訪（観光スポット/メッシュ）	観光スポット（メッシュ）の範囲内で位置情報ログが1回以上記録された場合は、観光スポット（メッシュ）に来訪したとみなす
来訪者数の集計日	3:00を日の区切りとし、3:00～翌2:59までの来訪者を1日の来訪者として記録、日単位の集計の月間の延べ数を月単位の人数とする ※来訪者数は1日ごとに集計する。このため、1日に複数回来訪した場合も1カウントとする ※複数日に跨がって滞在した場合は、各日でそれぞれ1カウントとする。この場合、月単位では2カウント以上となる
拡大推計	来訪者数および周遊者数は、日本政府観光局（JNTO）「外国人外客数」の年月・国籍別外国人外客数（推計値）を用いて拡大推計を実施している

市町村別来訪者数（人）	市町村内で来訪が判定された人数（拡大推計済み）を集計
沖縄県・県エリア別来訪者数（人）	市町村別来訪者数を県・エリア別で合算した値を沖縄県・県エリア別来訪者数とする
観光スポット別来訪者数（人）	観光スポット毎の来訪者数（延べ人数）を集計して表示
メッシュ別来訪者数（人）	1kmメッシュ毎の来訪者数（延べ人数）を集計して表示
沖縄県内平均滞在日数（日）	<p>夜間（21:00～翌3:00）にて最後にログ取得をした地点が沖縄県であった日を沖縄県内への滞在日とみなし（※）、日数を旅程毎に集計して算出</p> <p>※出国日、および夜間のログ取得がなかった場合は、当日の滞在時間が最も長かった市町村が沖縄県内の市町村であれば県内への滞在日とみなす。</p> <p>また1日にログ取得がなかった場合は、前日が県内滞在日であれば当日も沖縄県内への滞在日とみなす</p> <p>※精度保持の観点から、14日以上滞りは、滞在日を14日として計算する</p>
市町村間周遊数（トリップ）	<p>同一旅程にて複数の市町村を来訪した人数をカウントし、市町村単位で集計</p> <p>※3市町村以上来訪した場合は、直前・直後に訪問した市町村のみ集計対象とする。そのため、A→B→Cの場合、A→B、B→Cでそれぞれ1カウントとするが、A→Cはカウントしない</p>

2024年度1Q（4-6月）では以下の項目について調査・分析を行った。

	来訪分析	国・地域分析	観光スポット分析	滞在・移動ルート分析
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> 来訪者数 （沖縄県計・県エリア別・市町村別） 市町村・月別来訪者数 	<ul style="list-style-type: none"> 地理圏ブロック別来訪者数 地理圏ブロック別来訪状況 	<ul style="list-style-type: none"> 観光スポット別来訪状況 来訪状況マップ 地理圏ブロック別人気観光スポット 	<ul style="list-style-type: none"> 市町村間移動ルート 地理圏ブロック別市町村間移動ルート
調査目的	外国人来訪者が沖縄にいつ、どのエリア・市町村に訪問していたかを調査し、傾向を把握する。	外国人の地理圏ブロック別に、沖縄県や各市町村への訪問傾向がどうか、どのような変化があったか把握する。	外国人来訪者が県内のどのような観光スポット、地点に訪問しているか、また地理圏ブロック毎にどうか傾向があるのか把握する。	外国人来訪者が県内でどのように周遊しているのか分析する。

	来訪分析(p.10～)	国・地域分析 (p.19～)	観光スポット分析 (p.29～)	滞在・移動ルート分析 (p.40～)
沖縄県全体	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄県の外国人来訪者数は前年を126.2%上回った 国際航空路線の就航・運航再開や円安の効果により、主に観光・レジャー目的の来訪が回復に向かったと考えられる 	<ul style="list-style-type: none"> 地理圏別では東アジア、欧米豪、東南アジアの順で来訪が多い 地理圏別・エリア別の訪問先として、中部では沖縄市に東南アジア、嘉手納町に欧米豪の来訪が多く、南部ではどの地理圏でも那覇市への集中がみられた 	<ul style="list-style-type: none"> 観光スポット別来訪者は海洋博公園、デボアイランド、県民広場の順に多い 前年との比較では、対象113スポットのうち77スポットで前年を上回り、おきなわワールドやナゴパイナップルパークなどのレジャー施設でも増加 	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄県平均泊数は7.0泊で、前年同期の4.9泊から増加 市町村間周遊は、那覇市・名護市と各周辺市町村の間で多い

県エリア別	
北部	<ul style="list-style-type: none"> 観光・レジャー目的の来訪回復により、全体的に5月以降、来訪者数が前年に比べて大きく増加 特に名護市、本部町、恩納村で増加傾向にある
中部	<ul style="list-style-type: none"> 観光・レジャー目的に加え、在日米軍関係者やその親族・知人などの来訪も多い傾向のあるエリアと推定 来訪者数は前年を上回っているものの、県全体の伸び率より小さい市町村が多い
南部	<ul style="list-style-type: none"> 那覇市では、5月から6月にかけて来訪者数が大幅に増加、月別の前年増減率も200%を上回る 那覇市周辺の豊見城市や南城市、南風原町も、那覇市の増加が波及する形で、5月以降に来訪者数が大きく増加
離島	<ul style="list-style-type: none"> 県エリア別で来訪者数前年増減率が最も高く、6月は400%を超える。 特に石垣市は5月に大きく来訪が伸びている。

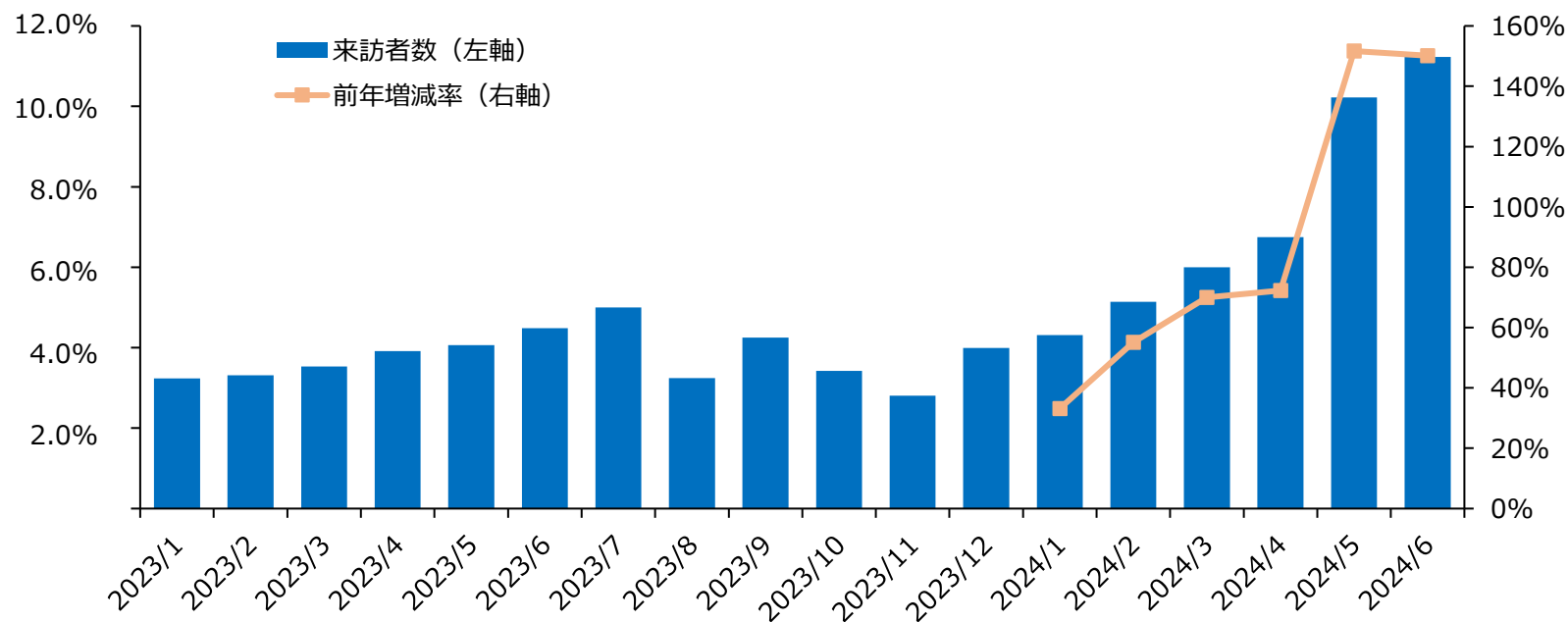
地理圏ブロック別	
東アジア	<ul style="list-style-type: none"> 来訪者数は前年増減率+147%、2024年5月以降に大幅増加 来訪先としては、南部が最も多く40.8%、次いで中部で36.3%を占める
東南アジア	<ul style="list-style-type: none"> 来訪者は前年増減率+144%、なかでも来訪者数が最も多いのは2024年5月 来訪先としては、中部が最も多く48.3%、次いで南部で39.4%を占める
欧米豪	<ul style="list-style-type: none"> 来訪者数は前年増減率+44%、なかでも来訪者数が最も多いのは2024年6月 来訪先としては、中部が最も多く半数を超える66.1%、次いで南部で17.9%を占める

外国人観光客
行動歴分析レポート
2024年度1Q（4 - 6月）

1. 来訪分析

沖縄県における外国人来訪者数は2023年12月以降右肩上がりであり、2024年度第一四半期（4～6月）は前年を126.2%上回る人数である。月別では、4・5・6月いずれも前年の来訪者数を大きく上回り、5・6月には前年増減率150%を上回るなど、回復が加速している。国際航空路線の就航・運航再開が相次いだ（那覇・釜山便（3/31～）、那覇・バンコク便（4/2～）、下地島・仁川便（5/29～）、那覇・台北便（6/15～））ことが大きな要因で、円安も追い風になったと考えられる。

外国人来訪者数構成比・前年増減率（沖縄県計）推移



注：構成比について

1日・1市町村単位で集計した沖縄県・月間の来訪者数（延べ数）をもとに、対象月18ヶ月（2023年1月～2024年6月）を母数として構成比を算出
 ※同日中に県内2市町村を訪問した場合、また同一市町村内に2日間滞在した場合、月間の来訪者数はいずれも2カウントとなる

2024年度第一四半期（4～6月）における外国人来訪者数前年増減率を県エリア別（北部・中部・南部・離島）にみると、増減率は離島、南部、北部、中部の順に多い。円安や国際航空路線の就航・運航再開の効果もあり、リゾート目的での沖縄来訪が回復していると考えられる。

外国人来訪者数前年増減率（県エリア別）

	北部	中部	南部	離島
2024年4月	104.1%	35.2%	109.0%	236.8%
2024年5月	176.3%	99.5%	216.6%	274.9%
2024年6月	189.6%	111.2%	179.5%	412.5%
2024年度1Q計	160.2%	83.2%	167.9%	308.5%

外国人来訪者数構成比推移（県エリア別）

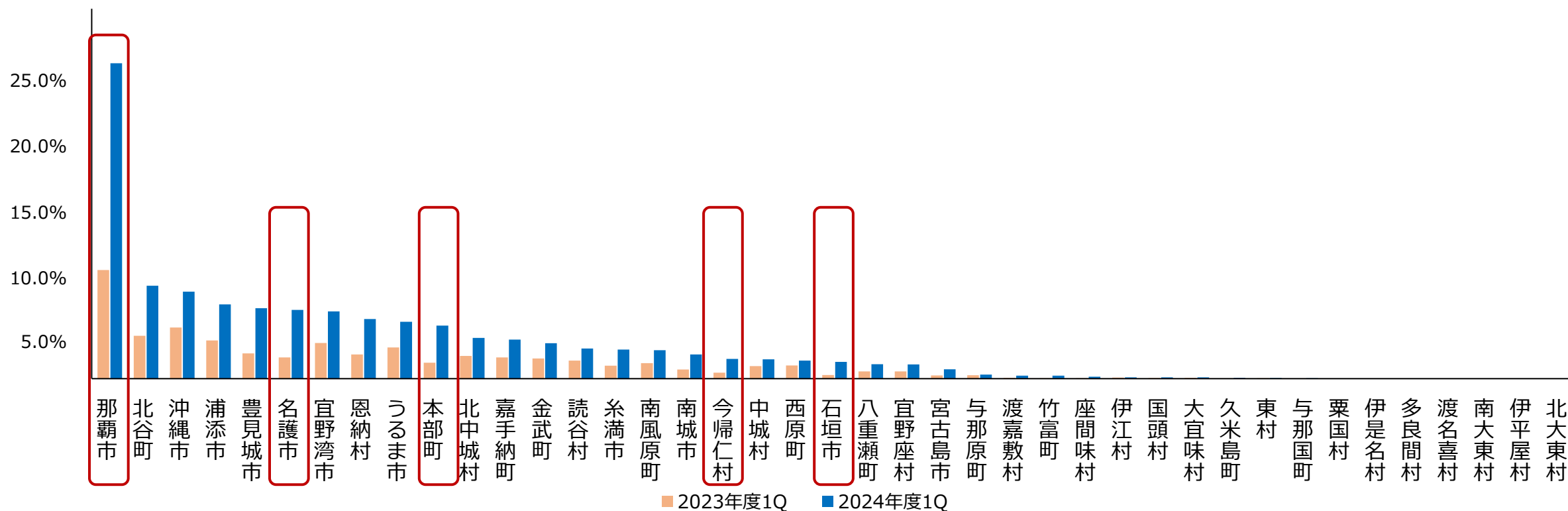


注：構成比について

1日・1市町村単位で集計した県エリア別・月間の来訪者数（延べ数）をもとに、対象月15ヶ月分（2023年4月～2024年6月）を母数として構成比を算出
 ※同日中に県内2市町村を訪問した場合、また同一市町村内に2日間滞在した場合、月間の来訪者数はいずれも2カウントとなる

市町村別で外国人来訪者数が最も多かったのは那覇市で、以下北谷町、沖縄市、浦添市と続く。前年との比較では、41市町村のうち38市町村で前年を上回った。リゾート目的の来訪回復から名護市や本部町、今帰仁村、石垣市では前年増減率+200%を上回るなど大きな増加率となったほか、那覇市も同+191%となった。

市町村別外国人来訪者数構成比（今期・前年同期）



注：構成比について

1日・1市町村単位で集計した来訪者数（延べ数）をもとに、対象月6ヶ月分（2023年度1Q, 2024年度1Q）を母数として構成比を算出

※同日中に県内2市町村を訪問した場合、また同一市町村内に2日間滞在した場合、月間の来訪者数はいずれも2カウントとなる

市町村別外国人来訪者数構成比ランキング（2024年度1Q）

順位	市町村	構成比	前年増減率	前年順位
1	那覇市	24.2%	190.7%	1
2	北谷町	7.1%	117.1%	3
3	沖縄市	6.7%	69.6%	2
4	浦添市	5.7%	94.6%	4
5	豊見城市	5.4%	178.6%	7
6	名護市	5.3%	223.1%	11
7	宜野湾市	5.2%	89.1%	5
8	恩納村	4.6%	146.2%	8
9	うるま市	4.4%	82.2%	6
10	本部町	4.1%	231.8%	14
11	北中城村	3.1%	78.1%	9
12	嘉手納町	3.0%	83.9%	10
13	金武町	2.7%	75.8%	12
14	読谷村	2.3%	67.3%	13
15	糸満市	2.2%	125.3%	17
16	南風原町	2.2%	85.0%	15
17	南城市	1.9%	165.6%	19
18	今帰仁村	1.5%	235.6%	22
19	中城村	1.5%	54.7%	18
20	西原町	1.4%	36.4%	16
21	石垣市	1.3%	356.3%	23

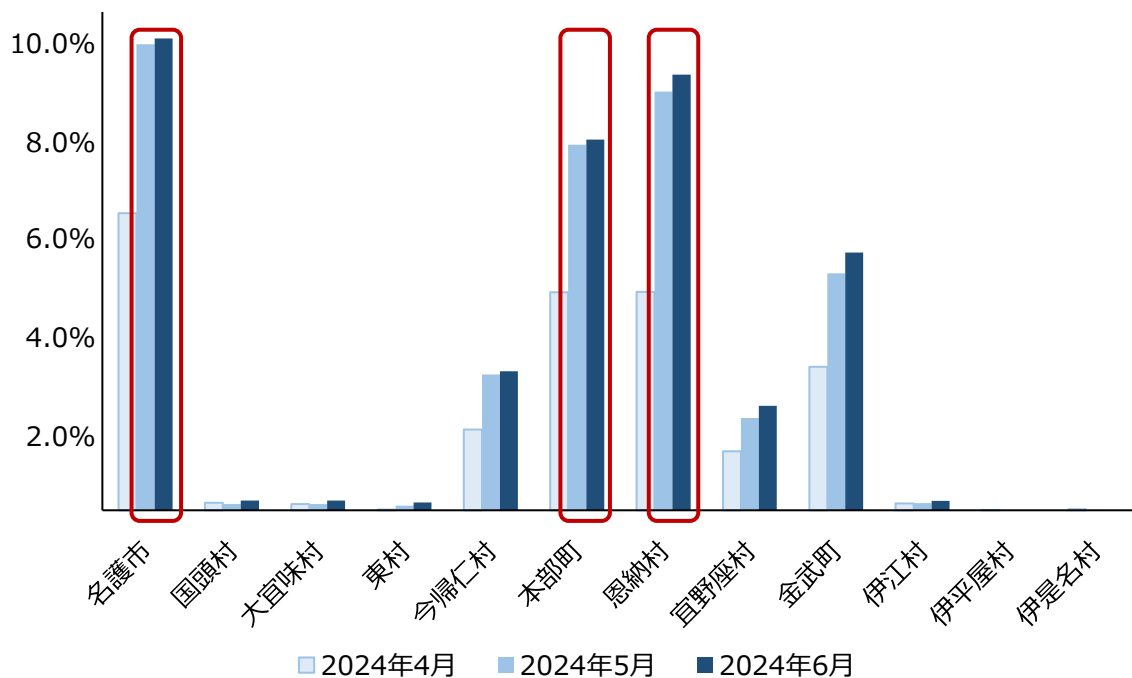
順位	市町村	構成比	前年増減率	前年順位
22	八重瀬町	1.1%	96.4%	21
23	宜野座村	1.1%	94.2%	20
24	宮古島市	0.7%	196.9%	25
25	与那原町	0.3%	17.4%	24
26	渡嘉敷村	0.2%	271.9%	28
27	竹富町	0.2%	674.5%	32
28	座間味村	0.1%	309.9%	30
29	伊江村	0.1%	11.9%	26
30	国頭村	0.1%	75.3%	29
31	大宜味村	0.1%	46.3%	27
32	久米島町	0.1%	215.9%	33
33	東村	0.1%	83.7%	31
34	与那国町	0.0%	2,415.3%	39
35	粟国村	0.0%	440.0%	37
36	伊是名村	0.0%	▲14.6%	34
37	多良間村	0.0%	232.7%	38
38	渡名喜村	0.0%	-	40
39	南大東村	0.0%	-	41
40	伊平屋村	0.0%	▲90.0%	35
41	北大東村	0.0%	▲100.0%	36

注：構成比について

2024年1Qで県へ来訪した外国人来訪者の総数を母数として算出

東アジアを中心に観光・レジャー目的の来訪が多いと想定される名護市、本部町、恩納村では、5月以降、来訪者数が大きく増加、前年を上回っている。

市町村別外国人来訪者数構成比（月別、北部）



市町村別外国人来訪者数構成比・前年増減率（月別、北部）

市町村	来訪者数構成比			前年増減率		
	4月	5月	6月	4月	5月	6月
名護市	6.5%	10.1%	10.3%	126.6%	275.1%	271.7%
国頭村	0.2%	0.1%	0.2%	305.0%	9.9%	65.7%
大宜味村	0.1%	0.1%	0.2%	83.7%	23.4%	45.0%
東村	0.0%	0.1%	0.2%	▲73.5%	228.6%	201.7%
今帰仁村	1.8%	3.0%	3.0%	148.2%	283.5%	266.1%
本部町	4.7%	8.0%	8.1%	166.6%	269.3%	246.9%
恩納村	4.8%	9.1%	9.5%	78.3%	174.7%	171.0%
宜野座村	1.3%	2.0%	2.3%	46.2%	102.8%	127.7%
金武町	3.1%	5.2%	5.6%	68.3%	54.7%	106.9%
伊江村	0.2%	0.2%	0.2%	9.9%	4.1%	20.4%
伊平屋村	0.0%	0.0%	0.0%	▲56.2%	▲100.0%	▲100.0%
伊是名村	0.0%	0.0%	0.0%	49.6%	▲6.7%	▲69.2%
計	22.6%	37.9%	39.5%	104.1%	176.3%	189.6%

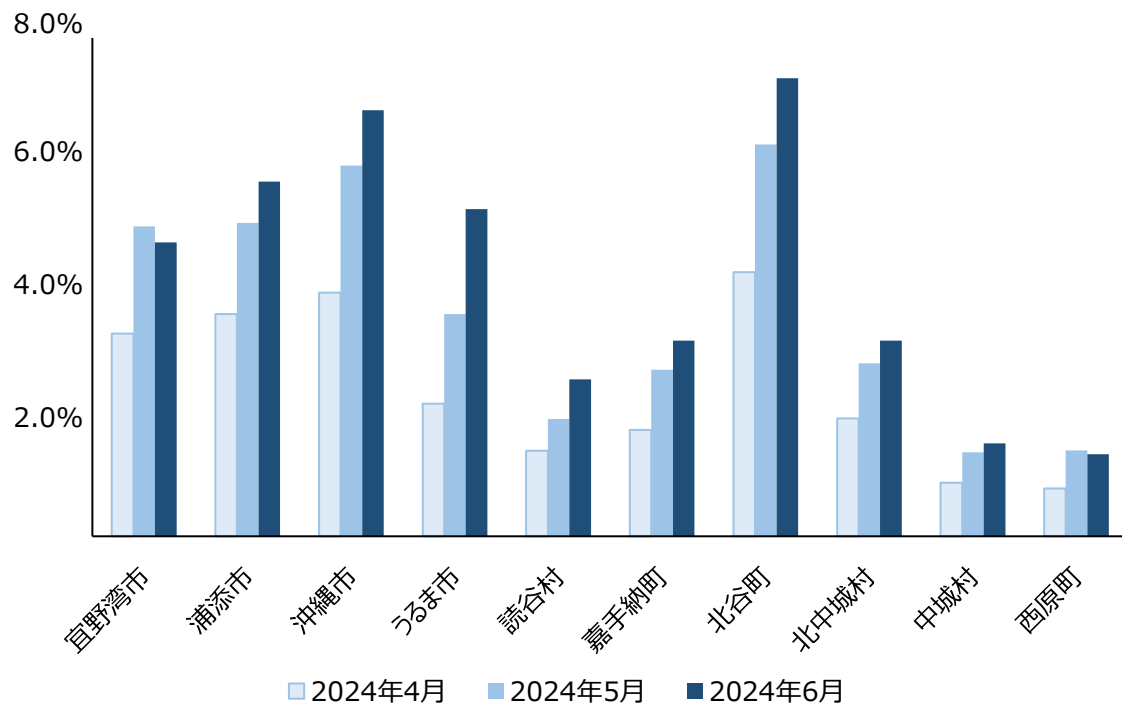
100.0%

注：構成比について

1日・1市町村単位で集計した来訪者数（延べ数）をもとに、エリア毎の対象月3ヶ月分（2024年4月～2024年6月）を母数として構成比を算出
 ※同日中に県内2市町村を訪問した場合、また同一市町村内に2日間滞在した場合、月間の来訪者数はいずれも2カウントとなる

中部では、観光・レジャー目的のほか、在日米軍関係者やその親族・知人などの来訪も多いと推定されるが、アメリカからの来訪者数増加はアジア圏と比較すると小幅にとどまっている。これにより、中部の各市町村における来訪者数は前年を上回っているものの、前年増減率は県全体の伸び率より小さい市町村が多い。

市町村別外国人来訪者数構成比（月別、中部）



市町村別外国人来訪者数構成比・前年増減率（月別、中部）

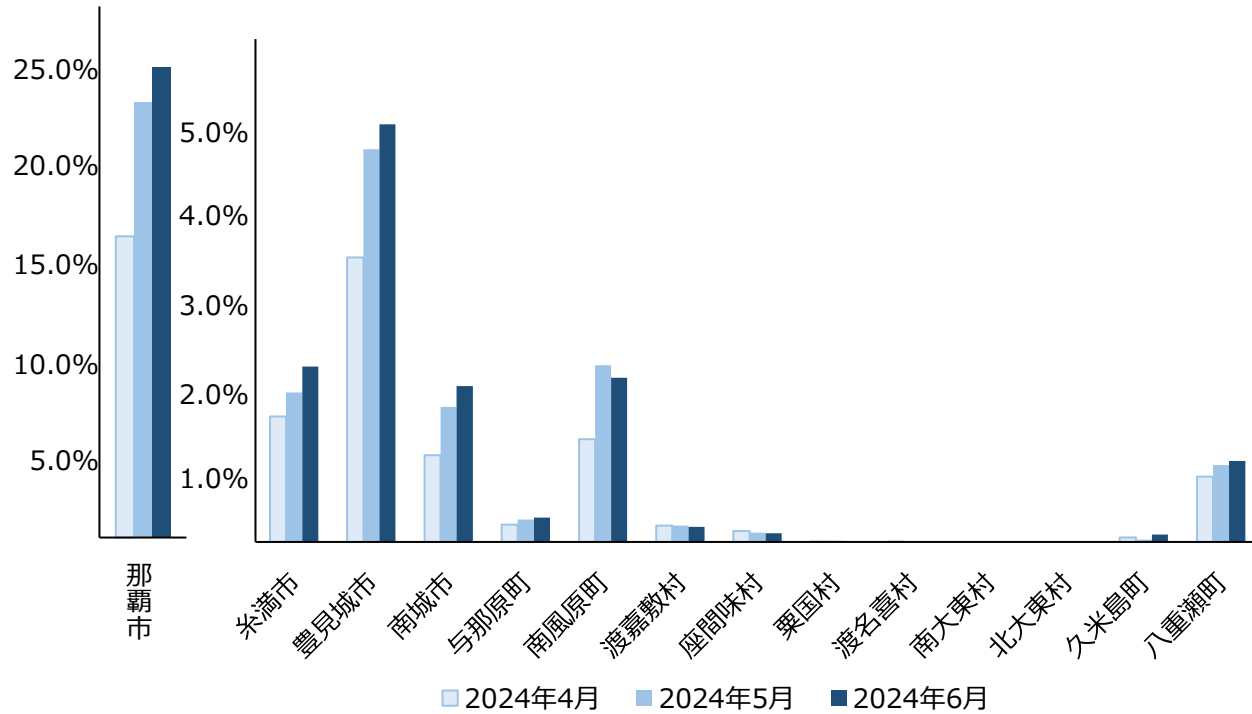
市町村	来訪者数構成比			前年増減率		
	4月	5月	6月	4月	5月	6月
宜野湾市	3.2%	4.9%	4.7%	36.8%	138.1%	98.3%
浦添市	3.5%	5.0%	5.6%	35.3%	137.0%	120.2%
沖縄市	3.9%	5.9%	6.8%	38.4%	79.4%	84.6%
うるま市	2.1%	3.5%	5.2%	22.2%	81.1%	128.6%
読谷村	1.4%	1.9%	2.5%	32.7%	75.6%	87.5%
嘉手納町	1.7%	2.6%	3.1%	18.3%	117.6%	121.4%
北谷町	4.2%	6.2%	7.3%	76.4%	110.0%	159.0%
北中城村	1.9%	2.7%	3.1%	29.3%	79.9%	127.9%
中城村	0.8%	1.3%	1.5%	6.9%	68.4%	89.5%
西原町	0.8%	1.4%	1.3%	▲3.9%	63.2%	47.1%
計	23.5%	35.5%	41.0%	35.2%	99.5%	111.2%
100.0%						

注：構成比について

1日・1市町村単位で集計した来訪者数（延べ数）をもとに、エリア毎の対象月3ヶ月分（2024年4月～2024年6月）を母数として構成比を算出
 ※同日中に県内2市町村を訪問した場合、また同一市町村内に2日間滞在した場合、月間の来訪者数はいずれも2カウントとなる

那覇市では、5月に来訪者数が前月から大幅に増加したことから来訪者数構成比に占める割合も増加し、前年増減率も5・6月は200%を上回っている。また、豊見城市や南城市、南風原町でも5月に来訪者数が前月から大きく増加し、構成比に占める割合が増えている。

市町村別外国人来訪者数構成比（月別、南部）



市町村別外国人来訪者数構成比・前年増減率（月別、南部）

市町村	来訪者数構成比			前年増減率		
	4月	5月	6月	4月	5月	6月
那覇市	16.0%	23.1%	25.0%	125.0%	239.2%	207.3%
糸満市	1.6%	2.0%	2.3%	119.5%	132.1%	123.8%
豊見城市	3.7%	5.1%	5.5%	108.3%	227.9%	205.7%
南城市	1.1%	1.8%	2.0%	72.4%	247.1%	194.5%
与那原町	0.2%	0.3%	0.3%	6.9%	52.7%	2.7%
南風原町	1.3%	2.3%	2.1%	27.6%	140.8%	91.1%
渡嘉敷村	0.2%	0.2%	0.2%	762.2%	582.3%	76.8%
座間味村	0.1%	0.1%	0.1%	724.4%	364.9%	132.0%
粟国村	0.0%	0.0%	0.0%	49.6%	-	-
渡名喜村	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	-
南大東村	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	-
北大東村	0.0%	0.0%	0.0%	-	▲100.0%	▲100.0%
久米島町	0.1%	0.0%	0.1%	200.4%	28.4%	518.4%
八重瀬町	0.9%	1.0%	1.1%	72.5%	157.2%	76.5%
計	25.3%	36.0%	38.7%	109.0%	216.6%	179.5%

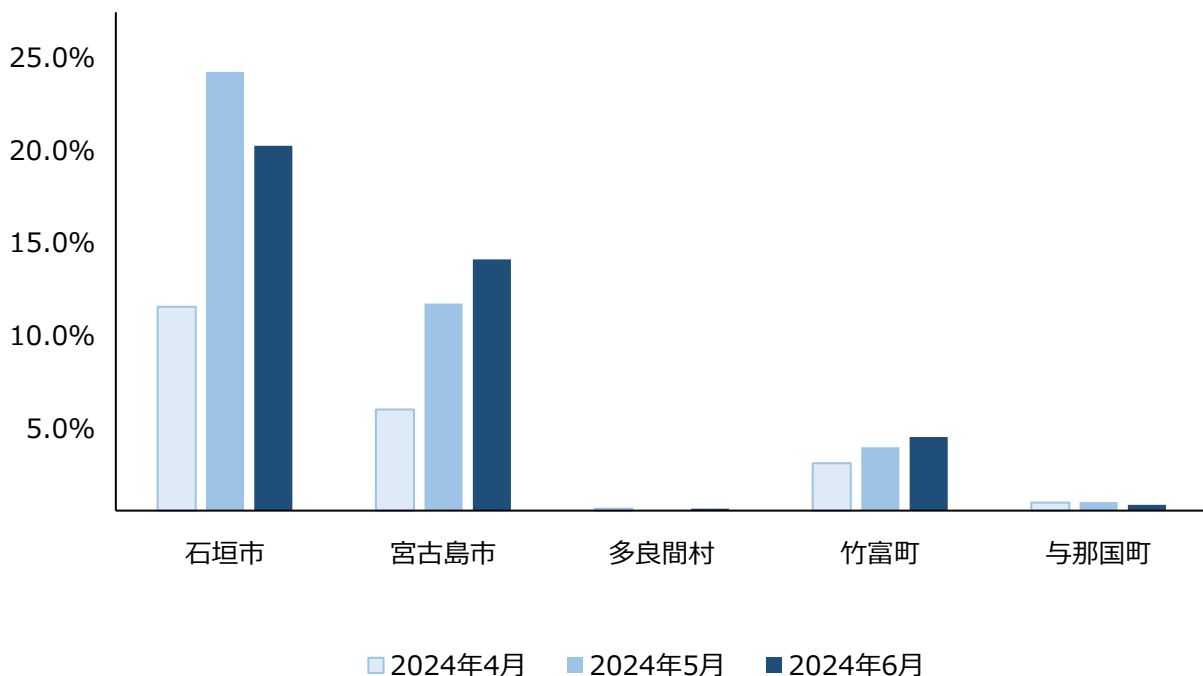
100.0%

注：構成比について

1日・1市町村単位で集計した来訪者数（延べ数）をもとに、エリア毎の対象月3ヶ月分（2024年4月～2024年6月）を母数として構成比を算出
 ※同日中に県内2市町村を訪問した場合、また同一市町村内に2日間滞在した場合、月間の来訪者数はいずれも2カウントとなる

石垣市では5月以降、宮古島市では6月の前年増減率が高くなった。前年増減率上昇の要因は、レジャー目的の来訪が回復したことによるためと想定される。

市町村別外国人来訪者数構成比（月別、離島）



市町村別外国人来訪者数構成比・前年増減率（月別、離島）

市町村	来訪者数構成比			前年増減率		
	4月	5月	6月	4月	5月	6月
石垣市	11.5%	24.7%	20.5%	249.9%	416.4%	370.4%
宮古島市	5.7%	11.7%	14.1%	159.9%	112.5%	382.2%
多良間村	0.1%	0.0%	0.1%	115.9%	▲100.0%	-
竹富町	2.7%	3.6%	4.1%	396.5%	707.2%	1047.2%
与那国町	0.5%	0.5%	0.3%	-	860.8%	-
計	20.4%	40.4%	39.2%	236.8%	274.9%	412.5%
			100.0%			

注：構成比について

1日・1市町村単位で集計した来訪者数（延べ数）をもとに、エリア毎の対象月3ヶ月分（2024年4月～2024年6月）を母数として構成比を算出
 ※同日中に県内2市町村を訪問した場合、また同一市町村内に2日間滞在した場合、月間の来訪者数はいずれも2カウントとなる

外国人観光客
行動歴分析レポート
2024年度1Q（4 - 6月）

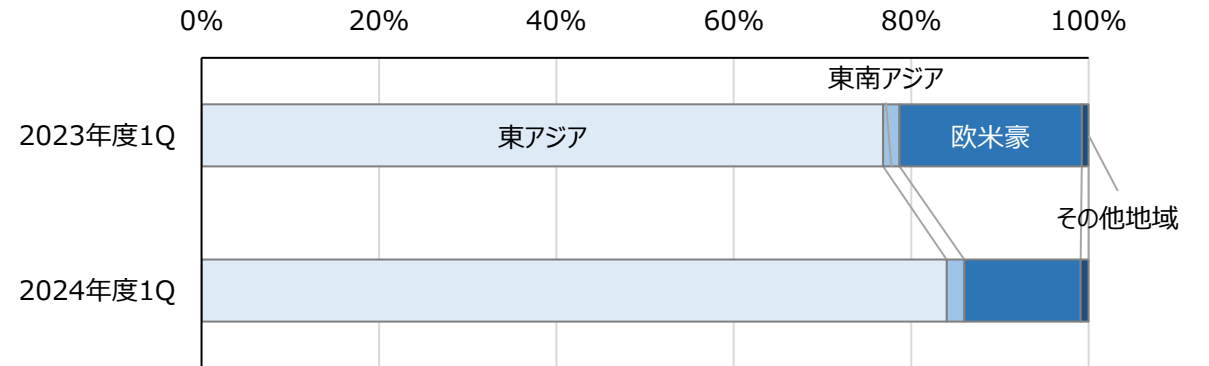
2. 国・地域分析

沖縄県の外国人来訪者を地理圏ブロック別にみると、最も多いのは東アジアで、全体の84%を占めている。次いで欧米豪が13%、東南アジアは2%となっている。前年との比較では、東アジア・東南アジアの前年増減率はいずれも140%を上回っている。

地理圏ブロック別来訪者数構成比、前年増減率（2024年度1Q）

地域圏	構成比	前年増減率
東アジア	84.0%	147.2%
東南アジア	2.0%	144.3%
欧米豪	13.1%	44.4%
その他地域	0.9%	162.4%
計	100.0%	126.2%

地理圏ブロック別来訪者数構成比

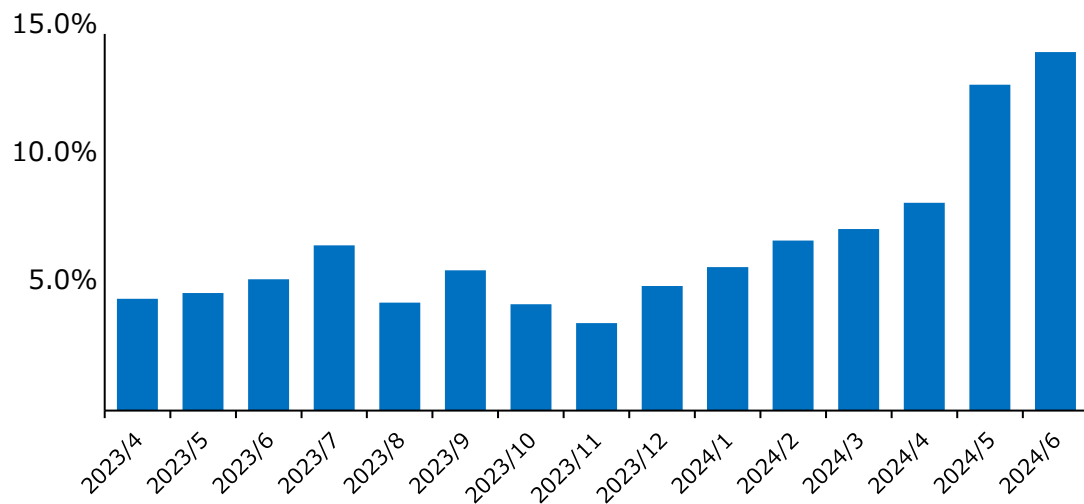


注：構成比について

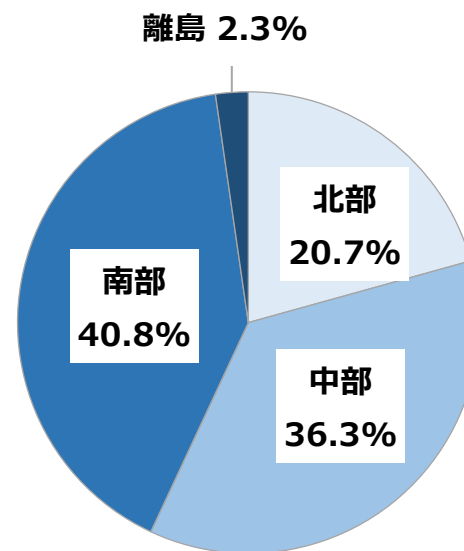
1Qの県への外国人総来訪者数を分母として算出

2024年度1Qにおける東アジアの沖縄県来訪者数は前年と比較して+147%増加している。月別の推移では、5月以降、大幅に増加していることがわかる。来訪先のエリアは、南部が最も多く、40.8%を占める。

来訪者数構成比推移（沖縄県計、東アジア）



県エリア別来訪先構成比（東アジア）

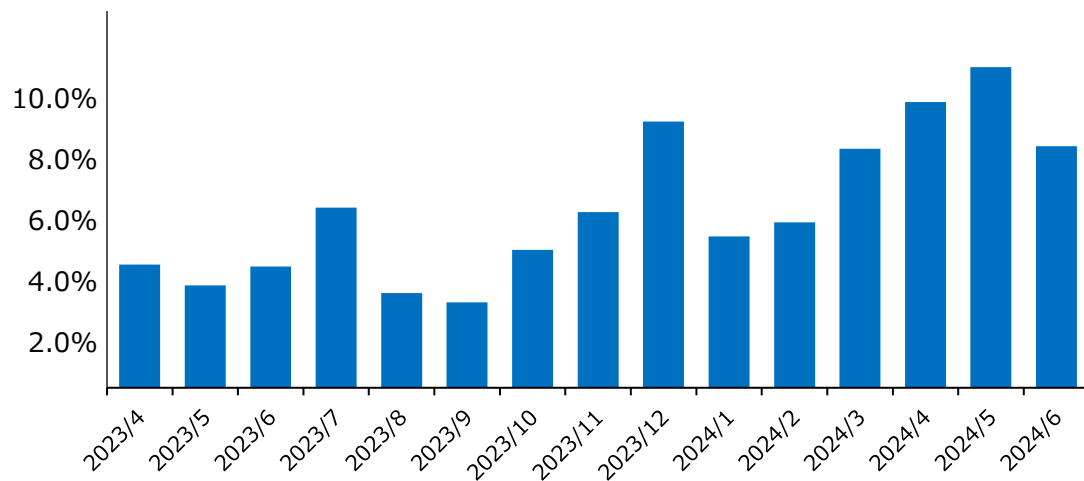


注：構成比について

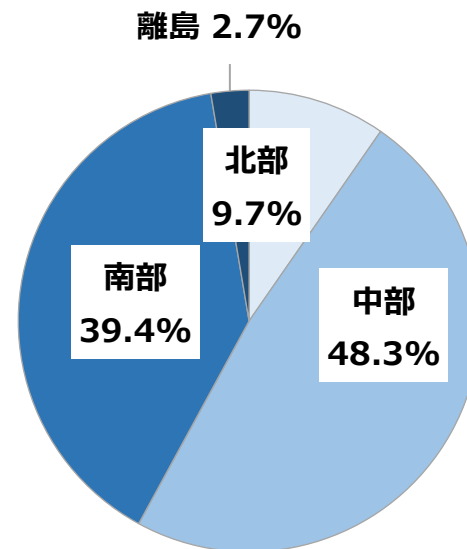
1日・1市町村単位で集計した県・月間の来訪者数（延べ数）をもとに、対象月15ヶ月分（2023年4月～2024年6月）を母数として構成比を算出
 ※同日中に県内2市町村を訪問した場合、また同一市町村内に2日間滞在した場合、月間の来訪者数はいずれも2カウントとなる

2024年度1Qにおける東南アジアの沖縄県来訪者数は前年と比較して+144%増加している。月別の推移をみると、5月の来訪者数は2023年4月以降最も多かったが、6月は前月から減少した。来訪先のエリア別は中部が最も多く48.3%を占め、東アジアの比率（36.3%）よりも高い。

来訪者数構成比推移（沖縄県計、東南アジア）



県エリア別来訪先構成比（東南アジア）

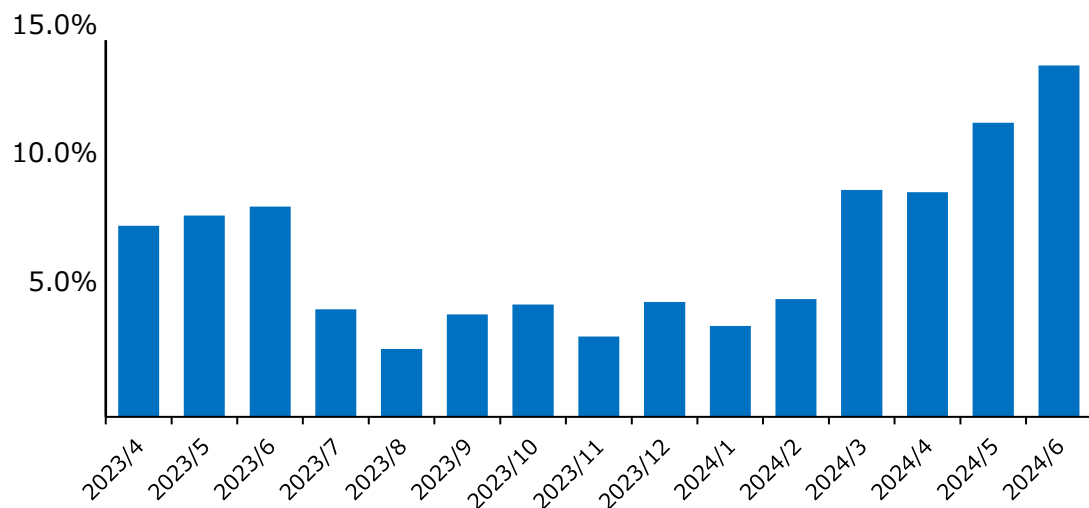


注：構成比について

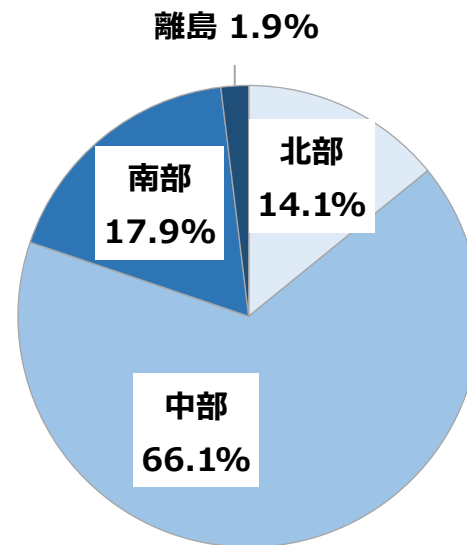
1日・1市町村単位で集計した県・月間の来訪者数（延べ数）をもとに、対象月15ヶ月分（2023年4月～2024年6月）を母数として構成比を算出
 ※同日中に県内2市町村を訪問した場合、また同一市町村内に2日間滞在した場合、月間の来訪者数はいずれも2カウントとなる

2024年度1Qにおける欧米豪の沖縄県来訪者数は前年と比較して+44%増加している。月別の推移をみると、2024年3月以降は増加が続いている。ただし、前年の4～6月も来訪者数が一時的に多かったことから、今期の前年増減率は他の地理圏ブロックより小さくなった。来訪先のエリアでは中部が最も多く66.1%を占める。

来訪者数構成比推移（沖縄県計、欧米豪）



県エリア別来訪先構成比（欧米豪）



注：構成比について

1日・1市町村単位で集計した県・月間の来訪者数（延べ数）をもとに、対象月15ヶ月分（2023年4月～2024年6月）を母数として構成比を算出
 ※同日中に県内2市町村を訪問した場合、また同一市町村内に2日間滞在した場合、月間の来訪者数はいずれも2カウントとなる

地理圏ブロック別来訪者数構成比（エリア別、2024年度1Q）

	東アジア	東南アジア	欧米豪	その他地域
北部	20.7%	9.7%	14.1%	22.5%
中部	36.3%	48.3%	66.1%	28.1%
南部	40.8%	39.4%	17.9%	43.3%
離島	2.3%	2.7%	1.9%	6.1%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

地理圏ブロック別来訪者数前年増減率（エリア別、2024年度1Q）

	東アジア	東南アジア	欧米豪	その他地域
北部	182.2%	127.6%	49.6%	231.0%
中部	99.4%	163.2%	38.5%	113.9%
南部	181.3%	151.4%	59.3%	179.3%
離島	426.6%	▲0.6%	118.1%	127.8%
計	147.2%	144.3%	44.4%	162.4%

注：構成比について

1日・1市町村単位で集計した来訪者数（延べ数）をもとに、エリア毎の対象月3ヶ月分（2024年4月～2024年6月）を母数として構成比を算出
 ※同日中に県内2市町村を訪問した場合、また同一市町村内に2日間滞在した場合、月間の来訪者数はいずれも2カウントとなる。また「計」には所属未定地も含むため、県エリア別内訳の合計と「計」の値は一致しない

地理圏ブロック別来訪者数構成比
（市町村別（北部）、2024年度1Q）

	東アジア	東南アジア	欧米豪	その他地域
名護市	26.7%	37.9%	26.8%	27.9%
国頭村	0.4%	3.2%	0.7%	3.3%
大宜味村	0.5%	2.0%	0.2%	1.0%
東村	0.3%	0.4%	0.7%	0.3%
今帰仁村	8.5%	7.6%	1.5%	2.9%
本部町	22.7%	15.9%	4.1%	16.0%
恩納村	24.8%	19.1%	8.2%	41.5%
宜野座村	5.9%	4.5%	2.6%	0.3%
金武町	9.7%	7.7%	54.8%	6.7%
伊江村	0.5%	0.7%	0.4%	0.0%
伊平屋村	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%
伊是名村	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

地理圏ブロック別来訪者数前年増減率
（市町村別（北部）、2024年度1Q）

	東アジア	東南アジア	欧米豪	その他地域
名護市	235.1%	233.3%	137.6%	286.1%
国頭村	76.2%	244.9%	11.8%	309.9%
大宜味村	45.5%	255.1%	3.9%	32.4%
東村	57.2%	▲25.6%	404.8%	-
今帰仁村	245.1%	238.8%	64.9%	13.9%
本部町	243.5%	179.0%	23.9%	202.4%
恩納村	164.2%	50.8%	▲18.4%	332.0%
宜野座村	99.7%	79.4%	23.4%	41.2%
金武町	104.1%	10.4%	44.0%	80.0%
伊江村	3.5%	-	312.3%	-
伊平屋村	▲100.0%	83.3%	▲100.0%	-
伊是名村	▲23.6%	136.9%	-	-
計	182.2%	127.6%	49.6%	231.0%

注：構成比について

1日・1市町村単位で集計した来訪者数（延べ数）をもとに、エリア毎の対象月3ヶ月分（2024年4月～2024年6月）分を母数として構成比を算出
 ※同日中に県内2市町村を訪問した場合、また同一市町村内に2日間滞在した場合、月間の来訪者数はいずれも2カウントとなる

地理圏ブロック別来訪者数構成比
（市町村別（中部）、2024年度1Q）

	東アジア	東南アジア	欧米豪	その他地域
宜野湾市	12.9%	16.2%	12.0%	18.7%
浦添市	15.9%	18.8%	7.6%	13.5%
沖縄市	15.6%	23.2%	19.4%	9.5%
うるま市	11.5%	9.3%	8.7%	5.7%
読谷村	5.6%	4.2%	6.1%	12.8%
嘉手納町	3.7%	3.2%	21.0%	7.3%
北谷町	18.0%	10.0%	17.3%	25.6%
北中城村	8.6%	7.0%	4.9%	5.0%
中城村	4.2%	4.4%	1.7%	0.0%
西原町	4.0%	3.8%	1.4%	1.9%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

地理圏ブロック別来訪者数前年増減率
（市町村別（中部）、2024年度1Q）

	東アジア	東南アジア	欧米豪	その他地域
宜野湾市	91.3%	164.8%	73.1%	121.1%
浦添市	102.2%	218.3%	39.2%	167.7%
沖縄市	83.7%	193.0%	32.8%	184.5%
うるま市	95.2%	121.4%	36.3%	107.1%
読谷村	128.6%	138.3%	▲11.9%	147.7%
嘉手納町	84.4%	97.1%	82.2%	381.6%
北谷町	157.2%	112.8%	38.2%	127.2%
北中城村	102.1%	222.9%	1.8%	▲40.7%
中城村	59.4%	200.7%	11.4%	▲100.0%
西原町	42.2%	75.3%	▲8.6%	522.8%
計	99.4%	163.2%	38.5%	113.9%

注：構成比について

1日・1市町村単位で集計した来訪者数（延べ数）をもとに、エリア毎の対象月3ヶ月分（2024年4月～2024年6月）分を母数として構成比を算出
 ※同日中に県内2市町村を訪問した場合、また同一市町村内に2日間滞在した場合、月間の来訪者数はいずれも2カウントとなる

地理圏ブロック別来訪者数構成比
（市町村別（南部）、2024年度1Q）

	東アジア	東南アジア	欧米豪	その他地域
那覇市	63.5%	73.5%	68.8%	69.4%
糸満市	6.0%	3.8%	5.8%	4.7%
豊見城市	14.9%	9.1%	9.1%	6.9%
南城市	5.0%	3.6%	3.7%	5.8%
与那原町	0.7%	1.9%	3.0%	0.6%
南風原町	5.9%	5.7%	4.9%	2.2%
渡嘉敷村	0.6%	0.3%	0.7%	3.6%
座間味村	0.3%	0.3%	0.7%	4.4%
粟国村	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
渡名喜村	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
南大東村	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%
北大東村	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
久米島町	0.2%	0.1%	0.5%	0.0%
八重瀬町	3.0%	1.6%	2.7%	2.5%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

地理圏ブロック別来訪者数前年増減率
（市町村別（南部）、2024年度1Q）

	東アジア	東南アジア	欧米豪	その他地域
那覇市	204.7%	176.4%	81.0%	193.1%
糸満市	134.6%	106.0%	47.4%	65.9%
豊見城市	193.9%	179.7%	22.8%	225.5%
南城市	189.3%	41.7%	15.8%	130.0%
与那原町	9.4%	186.6%	36.6%	▲40.9%
南風原町	95.9%	90.9%	▲7.1%	72.3%
渡嘉敷村	291.9%	207.0%	99.0%	488.6%
座間味村	318.8%	62.2%	127.8%	2,124.1%
粟国村	440.0%	-	-	-
渡名喜村	-	-	-	-
南大東村	-	-	-	-
北大東村	▲100.0%	-	-	-
久米島町	337.8%	▲84.5%	213.1%	▲100.0%
八重瀬町	102.1%	52.9%	42.9%	70.4%
計	181.3%	151.4%	59.3%	179.3%

注：構成比について

1日・1市町村単位で集計した来訪者数（延べ数）をもとに、エリア毎の対象月3ヶ月分（2024年4月～2024年6月）分を母数として構成比を算出
※同日中に県内2市町村を訪問した場合、また同一市町村内に2日間滞在した場合、月間の来訪者数はいずれも2カウントとなる

地理圏ブロック別来訪者数構成比
（市町村別（離島）、2024年度1Q）

	東アジア	東南アジア	欧米豪	その他地域
石垣市	56.7%	63.0%	54.2%	61.8%
宮古島市	31.3%	26.2%	36.2%	19.5%
多良間村	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
竹富町	10.3%	9.9%	9.2%	18.7%
与那国町	1.4%	0.9%	0.4%	0.0%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

地理圏ブロック別来訪者数前年増減率
（市町村別（離島）、2024年度1Q）

	東アジア	東南アジア	欧米豪	その他地域
石垣市	533.1%	7.1%	119.0%	94.2%
宮古島市	252.9%	▲23.5%	86.4%	173.8%
多良間村	-	▲100.0%	-	-
竹富町	840.8%	106.5%	445.0%	277.1%
与那国町	2,275.0%	-	-	-
計	426.6%	▲0.6%	118.1%	127.8%

注：構成比について

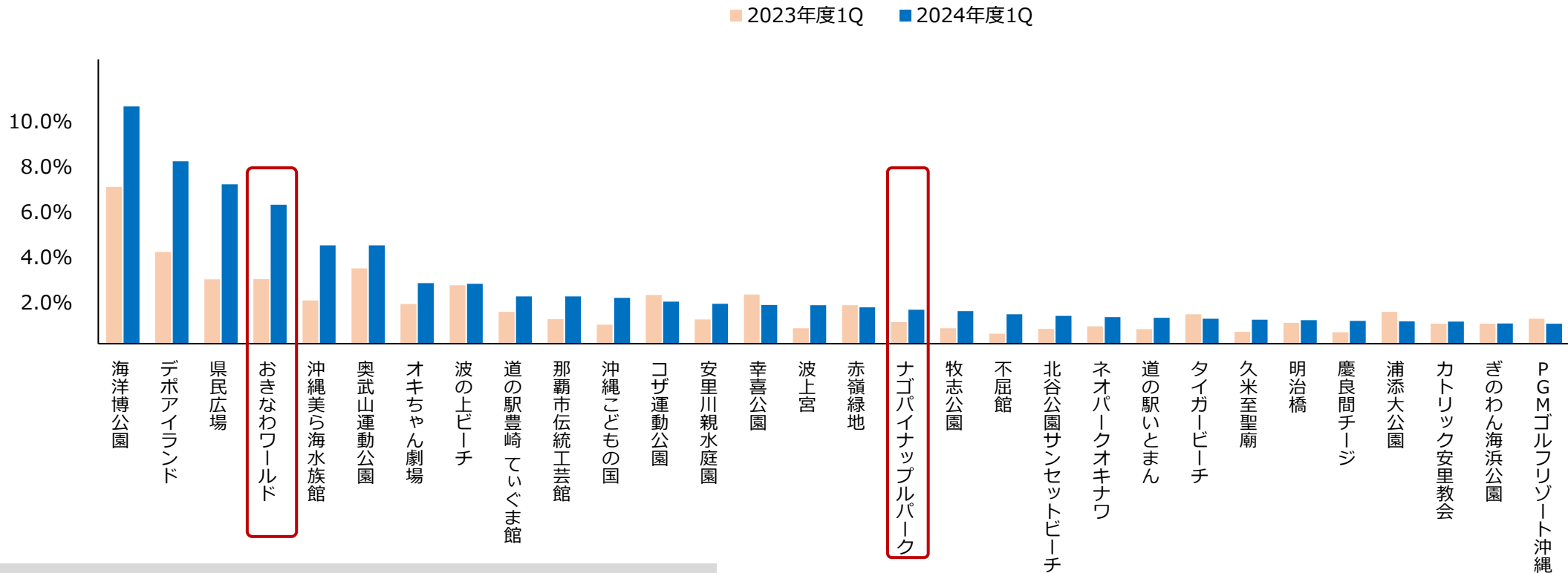
1日・1市町村単位で集計した来訪者数（延べ数）をもとに、エリア毎の対象月3ヶ月分（2024年4月～2024年6月）分を母数として構成比を算出
※同日中に県内2市町村を訪問した場合、また同一市町村内に2日間滞在した場合、月間の来訪者数はいずれも2カウントとなる

外国人観光客
行動歴分析レポート
2024年度1Q（4 - 6月）

3. 観光スポット分析

観光スポット別で最も来訪者数が多かったのは「海洋博公園」で、以下「デポアイランド」、「県民広場」と続く。前年との比較では、113スポットのうち77スポットで前年を上回り、「おきなわワールド」や「ナゴパイナップルパーク」などのレジャー施設でも来訪者数が前年から大きく増加している。

観光スポット別外国人来訪者数構成比（今期上位30スポット）



注：構成比について

1日・1スポット単位で集計した来訪者数（延べ数）をもとに、対象月3ヶ月分（2024年4月～2024年6月）分を母数として構成比を算出

※同一スポット内に2日間滞在した場合、月間・四半期の来訪者数は2カウントとなる

観光スポット別来訪者数構成比

観光スポット	所在地	来訪者数構成比		
		2024年度1Q	2023年度1Q	前年増減率
海洋博公園	本部町	10.1%	9.5%	51.3%
沖縄美ら海水族館	本部町	4.2%	2.6%	127.6%
オキちゃん劇場	本部町	2.6%	2.4%	53.2%
幸喜公園	名護市	1.7%	3.0%	▲21.0%
ナゴパイナップルパーク	名護市	1.4%	1.3%	56.3%
ネオパークオキナワ	名護市	1.1%	1.1%	52.3%
タイガービーチ	恩納村	1.1%	1.8%	▲15.2%
P G Mゴルフリゾート沖縄	恩納村	0.8%	1.5%	▲20.4%
古宇利オーシャンタワー	今帰仁村	0.8%	0.7%	80.6%
瀬底大橋	本部町	0.8%	1.2%	▲6.6%
万座ビーチ	恩納村	0.8%	0.6%	79.2%
名護漁港	名護市	0.8%	1.2%	▲13.1%
橋詰公園	今帰仁村	0.8%	0.8%	35.5%
琉球村	恩納村	0.7%	0.3%	246.3%
古宇利ビーチ	今帰仁村	0.7%	1.0%	▲10.1%
本部町立博物館	本部町	0.7%	0.8%	19.4%

観光スポット	所在地	来訪者数構成比		
		2024年度1Q	2023年度1Q	前年増減率
ブセナリゾート	名護市	0.6%	0.8%	14.2%
宜野座カントリークラブ	宜野座村	0.5%	1.2%	▲35.6%
おきなわ郷土村	本部町	0.5%	0.5%	34.0%
国営沖縄記念公園エメラルドビーチ	本部町	0.5%	0.5%	32.6%
ブセナビーチ	名護市	0.4%	0.6%	▲0.0%
沖縄歴史民俗資料館	名護市	0.4%	0.5%	4.8%
ベストウェスタン沖縄恩納ビーチ	恩納村	0.3%	0.2%	86.3%
真栄田岬	恩納村	0.3%	0.2%	93.9%
美らオーチャードゴルフ倶楽部	恩納村	0.3%	0.7%	▲42.3%
フォレストアドベンチャーin恩納	恩納村	0.2%	0.2%	13.4%
万国津梁館	名護市	0.1%	0.0%	362.1%
ミッションビーチ	恩納村	0.1%	0.2%	▲30.1%
オリオンハッピーパーク	名護市	0.1%	0.1%	2.5%
琉球ガラスていだ工房	恩納村	0.1%	0.2%	▲57.8%
今帰仁城跡	今帰仁村	0.0%	0.2%	▲59.3%
道の駅ゆいゆい国頭	国頭村	0.0%	0.0%	159.1%

注：構成比について

1日・1スポット単位で集計した来訪者数（延べ数）をもとに、対象月3ヶ月分（2024年4月～2024年6月）分を母数として構成比を算出

※同一スポット内に2日間滞在した場合、月間・四半期の来訪者数は2カウントとなる

観光スポット別来訪者数構成比

観光スポット	所在地	来訪者数構成比		
		2024年度1Q	2023年度1Q	前年増減率
デポアイランド	北谷町	7.8%	5.5%	99.1%
沖縄こどもの国	沖縄市	2.0%	1.2%	141.6%
コザ運動公園	沖縄市	1.8%	3.0%	▲13.9%
北谷公園サンセットビーチ	北谷町	1.2%	0.9%	89.6%
浦添大公園	浦添市	1.0%	1.9%	▲29.9%
ぎのわん海浜公園	宜野湾市	0.9%	1.2%	1.9%
八重島公園	沖縄市	0.8%	1.3%	▲15.4%
イシグスク	西原町	0.7%	1.6%	▲40.7%
安良波公園	北谷町	0.6%	0.7%	27.7%
ラウンドワンスタジアム 沖縄・宜野湾店	宜野湾市	0.6%	0.7%	27.0%
ANA SPORTS PARK浦添	浦添市	0.4%	0.8%	▲25.8%
ワンダーミュージアム	沖縄市	0.4%	0.2%	155.1%
残波岬公園	読谷村	0.4%	0.3%	65.8%
沖縄県総合運動公園	北中城村	0.4%	1.0%	▲49.6%
泡瀬漁港	沖縄市	0.3%	0.8%	▲45.5%
美らヤシパークオキナワ・東南植物楽園	沖縄市	0.2%	0.4%	▲15.6%

観光スポット	所在地	来訪者数構成比		
		2024年度1Q	2023年度1Q	前年増減率
残波ビーチ	読谷村	0.2%	0.2%	64.9%
沖縄ロイヤルゴルフクラブ	うるま市	0.2%	0.4%	▲32.7%
コザ・ミュージックタウン	沖縄市	0.1%	0.3%	▲26.9%
宜野湾マリーナ 海浜公園	宜野湾市	0.1%	0.2%	3.3%
座喜味城跡公園	読谷村	0.1%	0.2%	8.3%
勝連城跡	うるま市	0.1%	0.2%	▲11.3%
残波岬灯台	読谷村	0.1%	0.1%	94.9%
トロピカルビーチ	宜野湾市	0.1%	0.4%	▲67.8%
国立劇場おきなわ	浦添市	0.1%	0.1%	11.4%
体験王国むら咲むら	読谷村	0.1%	0.2%	▲34.8%
中城城跡	中城村	0.0%	0.1%	▲35.2%
あやはし海中道路ビーチ	うるま市	0.0%	0.1%	▲63.0%
ビオスの丘	うるま市	0.0%	0.1%	▲74.6%

注：構成比について

1日・1スポット単位で集計した来訪者数（延べ数）をもとに、対象月3ヶ月分（2024年4月～2024年6月）分を母数として構成比を算出

※同一スポット内に2日間滞在した場合、月間・四半期の来訪者数は2カウントとなる

観光スポット別来訪者数構成比

観光スポット	所在地	来訪者数構成比		
		2024年度1Q	2023年度1Q	前年増減率
県民広場	那覇市	6.8%	3.9%	宜野座村
おきなわワールド	南城市	5.9%	3.9%	本部町
奥武山運動公園	那覇市	4.2%	4.6%	名護市
波の上ビーチ	那覇市	2.6%	3.5%	恩納村
道の駅豊崎 ていぐま館	豊見城市	2.0%	1.9%	恩納村
那覇市伝統工芸館	那覇市	2.0%	1.5%	恩納村
安里川親水庭園	那覇市	1.7%	1.5%	恩納村
波上宮	那覇市	1.6%	0.9%	恩納村
赤嶺緑地	那覇市	1.6%	2.3%	今帰仁村
牧志公園	那覇市	1.4%	0.9%	0.0%
不屈館	那覇市	1.3%	0.6%	0.0%
道の駅いとまん	糸満市	1.1%	0.9%	所在地
久米至聖廟	那覇市	1.0%	0.7%	読谷村
明治橋	那覇市	1.0%	1.3%	うるま市
慶良間チーゾ	那覇市	1.0%	0.7%	沖縄市
カトリック安里教会	那覇市	0.9%	1.2%	読谷村
美栄橋公園	那覇市	0.8%	1.0%	宜野湾市
沖縄県立博物館・美術館	那覇市	0.8%	1.0%	うるま市

観光スポット	所在地	来訪者数構成比		
		2024年度1Q	2023年度1Q	前年増減率
西崎運動公園	糸満市	0.7%	1.2%	0.0%
糸満海のふるさと公園	糸満市	0.7%	0.6%	0.0%
福州園	那覇市	0.6%	0.4%	糸満市
首里城	那覇市	0.6%	0.6%	那覇市
泊緑地	那覇市	0.6%	0.7%	那覇市
玉陵	那覇市	0.5%	0.4%	那覇市
新都心公園	那覇市	0.5%	0.8%	那覇市
沖縄セルラースタジアム那覇	那覇市	0.4%	0.6%	南城市
識名園	那覇市	0.4%	0.5%	糸満市
天久山聖現寺	那覇市	0.4%	0.3%	南風原町
旧崇元寺石門	那覇市	0.2%	0.4%	0.0%
沖縄県営平和祈念公園	糸満市	0.1%	0.1%	0.0%
体験滞在交流センターがんじゅう駅・南城	南城市	0.1%	0.1%	0.0%
知念城跡	南城市	0.1%	0.1%	0.0%
豊崎海浜公園 オリオンECO美らSUNビーチ	豊見城市	0.1%	0.2%	0.0%
美々ビーチいとまん	糸満市	0.1%	0.2%	0.0%
与那覇グスク	南風原町	0.1%	0.1%	0.0%
斎場御嶽	南城市	0.0%	0.1%	0.0%

注：構成比について

1日・1スポット単位で集計した来訪者数（延べ数）をもとに、対象月3ヶ月分（2024年4月～2024年6月）分を母数として構成比を算出

※同一スポット内に2日間滞在した場合、月間・四半期の来訪者数は2カウントとなる

観光スポット別来訪者数構成比

観光スポット	所在地	来訪者数（人）		
		2024年度1Q	2023年度1Q	前年増減率
川平公園	石垣市	0.5%	0.0%	4,179.8%
中村つりぐ店	石垣市	0.3%	0.0%	1,048.5%
石垣やいま村	石垣市	0.3%	0.0%	21,516.3%
南ぬ浜町人工ビーチ	石垣市	0.2%	0.0%	1,782.2%
大濱信泉記念館	石垣市	0.1%	0.0%	297.4%
与那覇前浜	宮古島市	0.1%	0.0%	6,918.5%
石垣市伝統工芸館	石垣市	0.1%	0.0%	481.9%
サザンゲートブリッジ	石垣市	0.1%	0.0%	336.4%
シギラベイカントリークラブ	宮古島市	0.1%	0.0%	287.3%
登野城漁港マンタ公園	石垣市	0.1%	0.0%	513.8%
バナナ公園バナナの森といこいの広場	石垣市	0.1%	0.0%	787.0%
美崎御嶽	石垣市	0.1%	0.0%	792.4%
うえのドイツ文化村	宮古島市	0.0%	0.0%	65.9%
通り池	宮古島市	0.0%	0.0%	2,008.5%
渡口の浜	宮古島市	0.0%	0.0%	1,643.9%
エメラルドコーストゴルフリンクス	宮古島市	0.0%	0.0%	338.5%

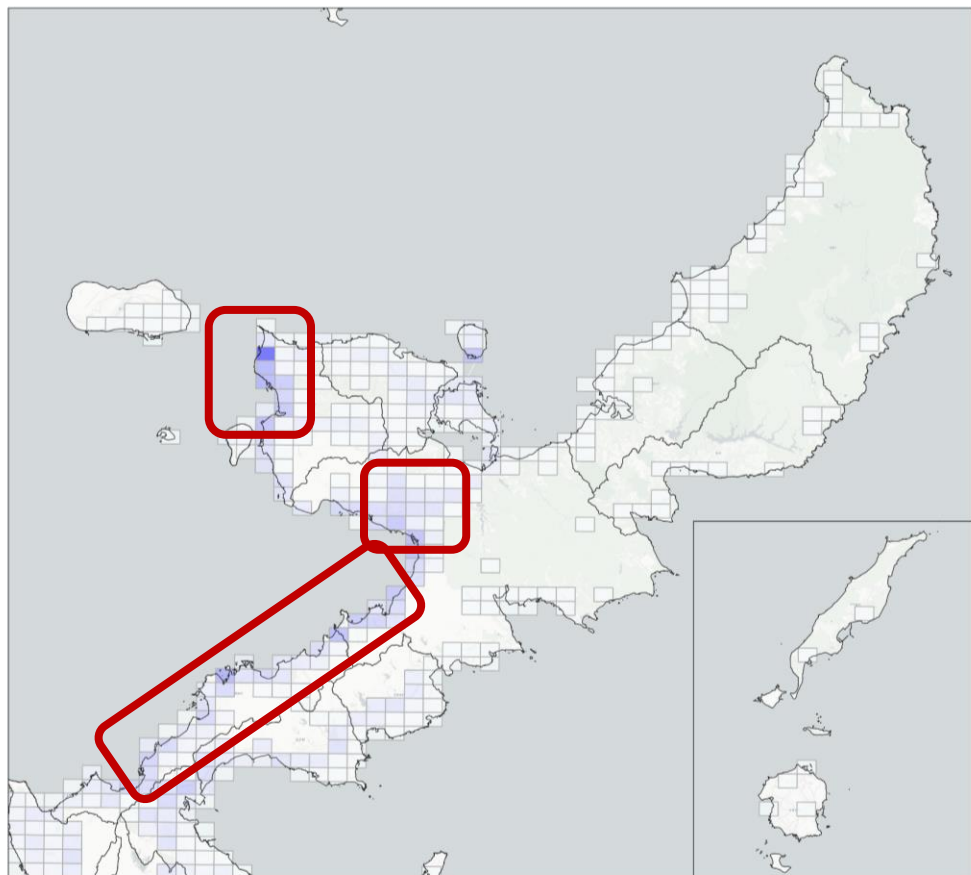
注：構成比について

1日・1スポット単位で集計した来訪者数（延べ数）をもとに、対象月3ヶ月分（2024年4月～2024年6月）分を母数として構成比を算出

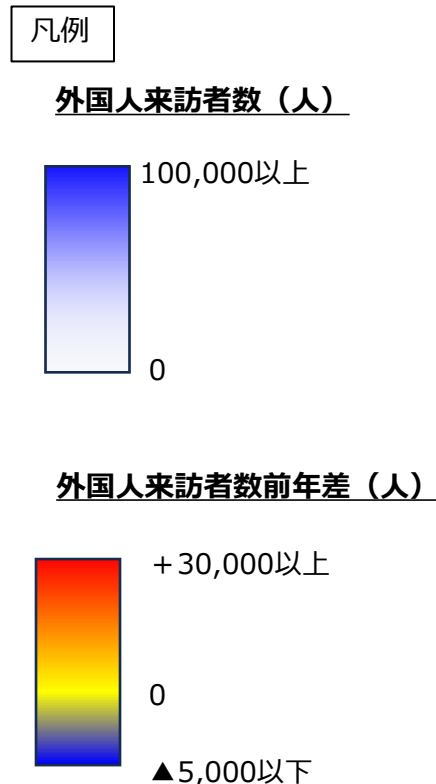
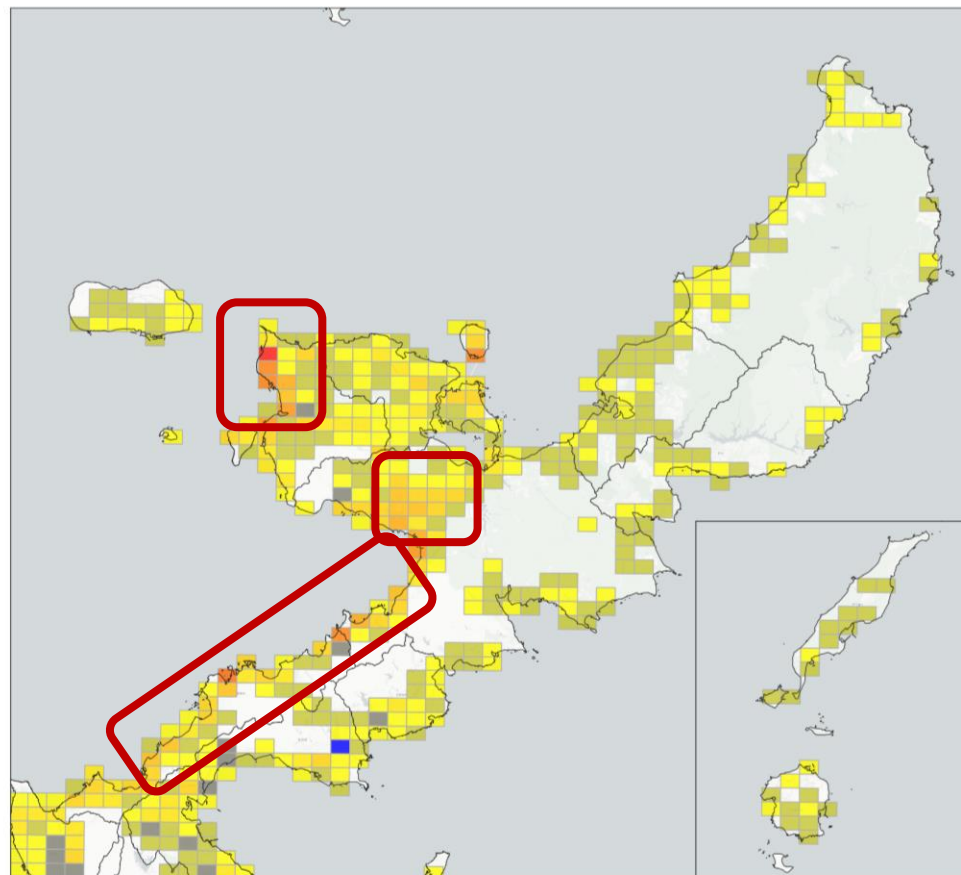
※同一スポット内に2日間滞在した場合、月間・四半期の来訪者数は2カウントとなる

北部では、恩納村から名護市許田の海岸沿いリゾートエリアや名護市中心部、海洋博公園周辺が来訪者数の多いエリアであり、いずれも前年から来訪者数が増加している。

外国人来訪者数



外国人来訪者数前年差



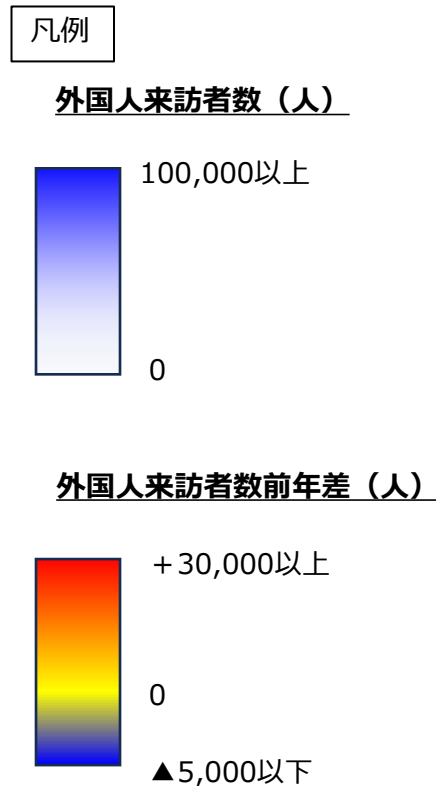
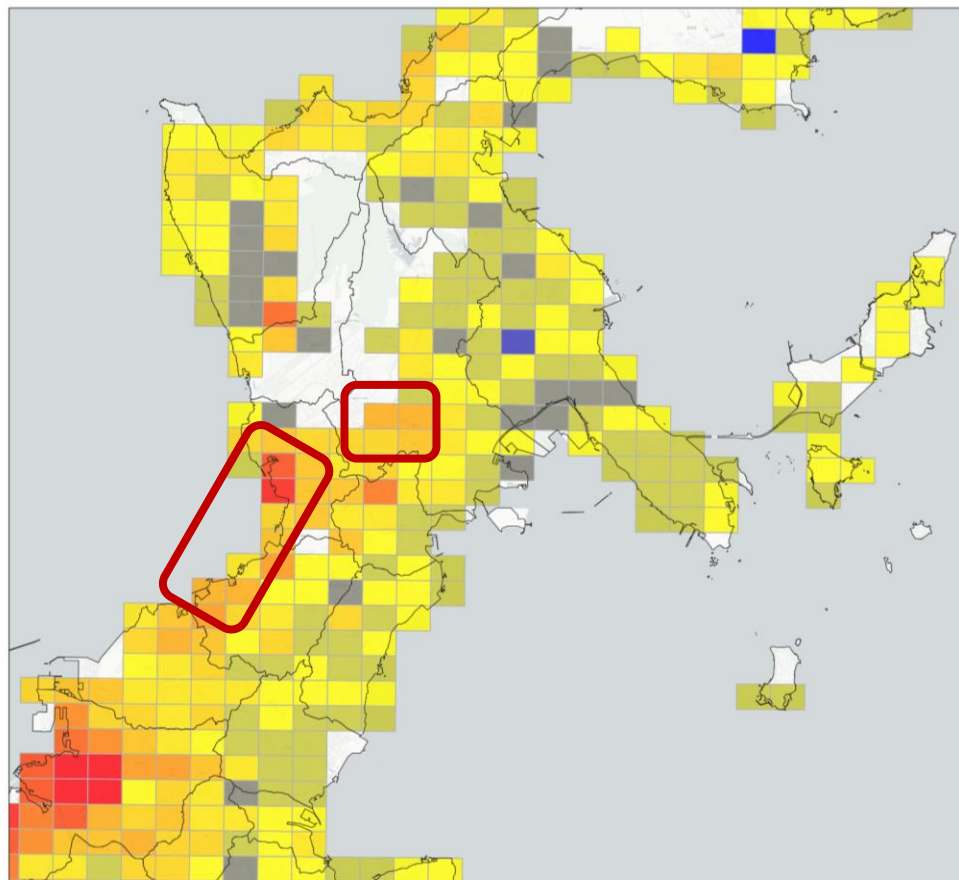
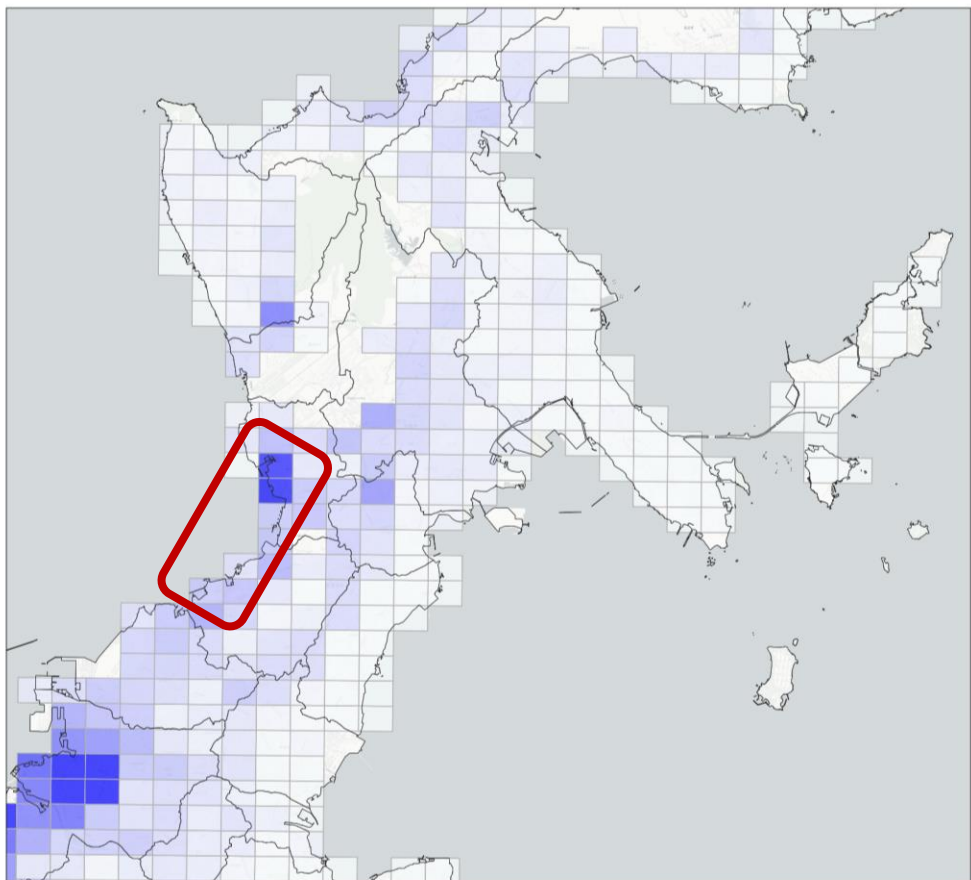
注：メッシュ別外国人来訪者数について

1kmメッシュ毎の来訪者数を集計して表示している。なお、来訪者数は1日単位で集計しこの延べ数を掲載している。このため、同一スポット内に2日間滞在した場合、月間・四半期の来訪者数は2カウントとなる

中部では、北谷町アメリカンビレッジ周辺から宜野湾市にかけての西海岸で来訪者数が多い。前年との比較では、これらのエリアに加え、沖縄市コザ周辺でも来訪者数が前年から大幅に増加している。

外国人来訪者数

外国人来訪者数前年差



注：メッシュ別外国人来訪者数について

1kmメッシュ毎の来訪者数を集計して表示している。なお、来訪者数は1日単位で集計しこの延べ数を掲載している。このため、同一スポット内に2日間滞在した場合、月間・四半期の来訪者数は2カウントとなる

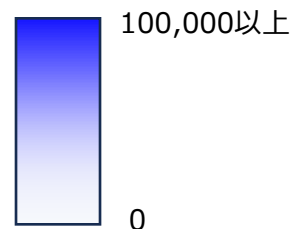
南部では、那覇市国際通り周辺に来訪が集中していることが分かる。前年との比較では、那覇空港と国際通りの間、また豊見城市豊崎などで前年の来訪者数を大きく上回っている。

外国人来訪者数

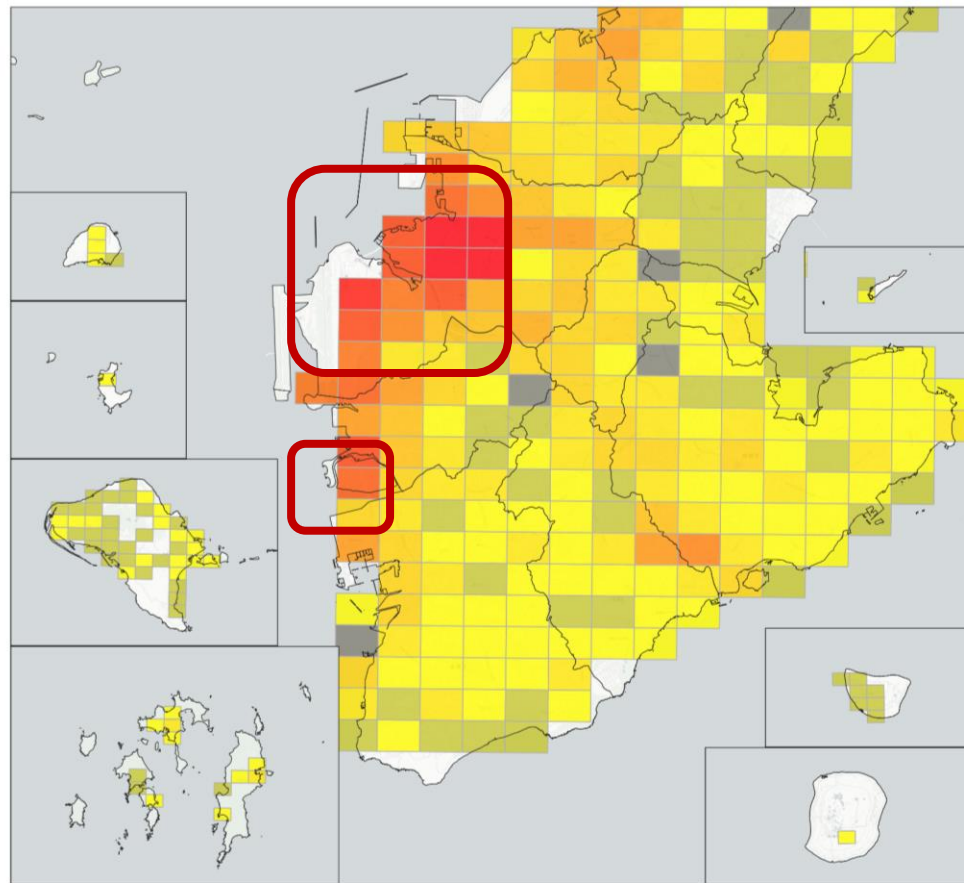
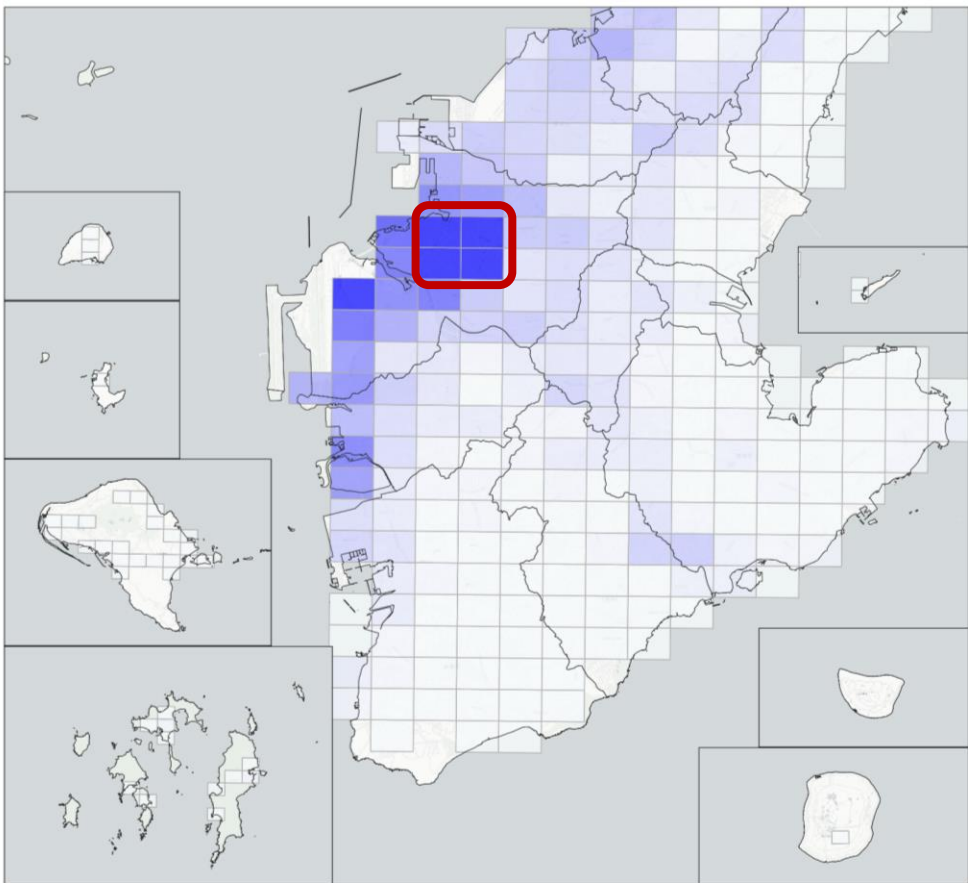
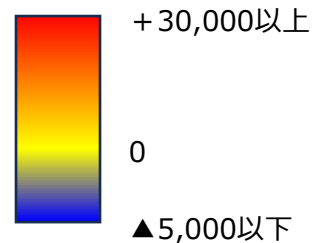
外国人来訪者数前年差

凡例

外国人来訪者数（人）



外国人来訪者数前年差（人）



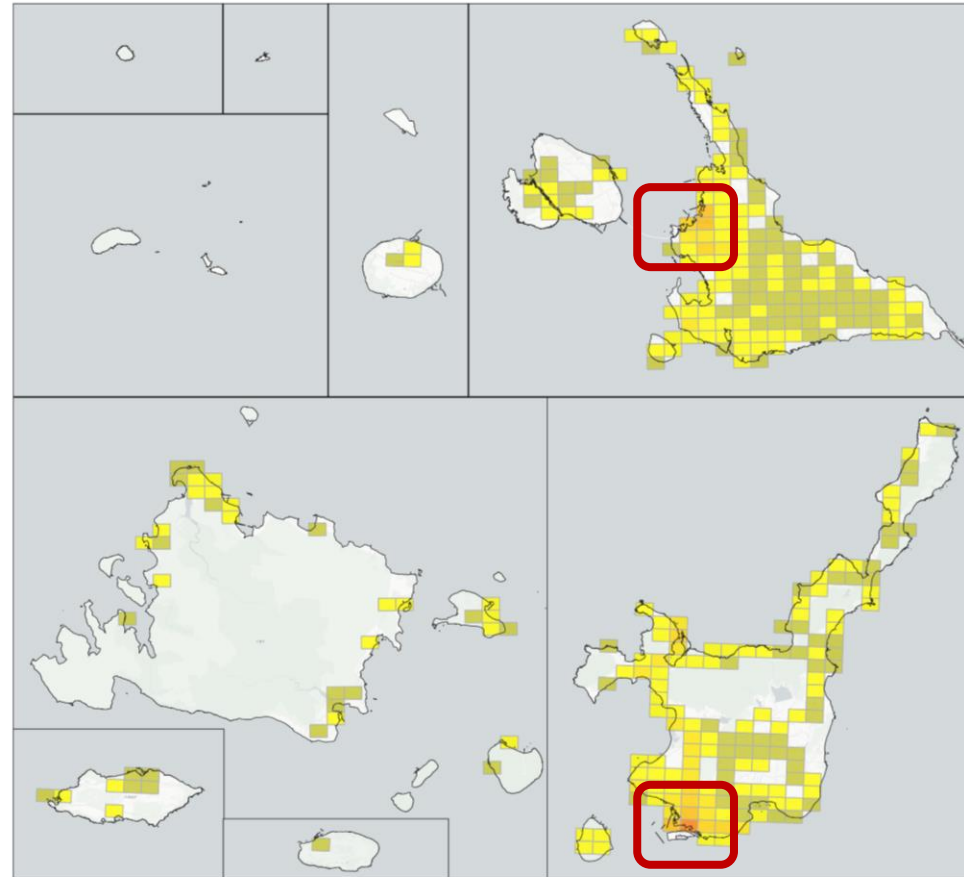
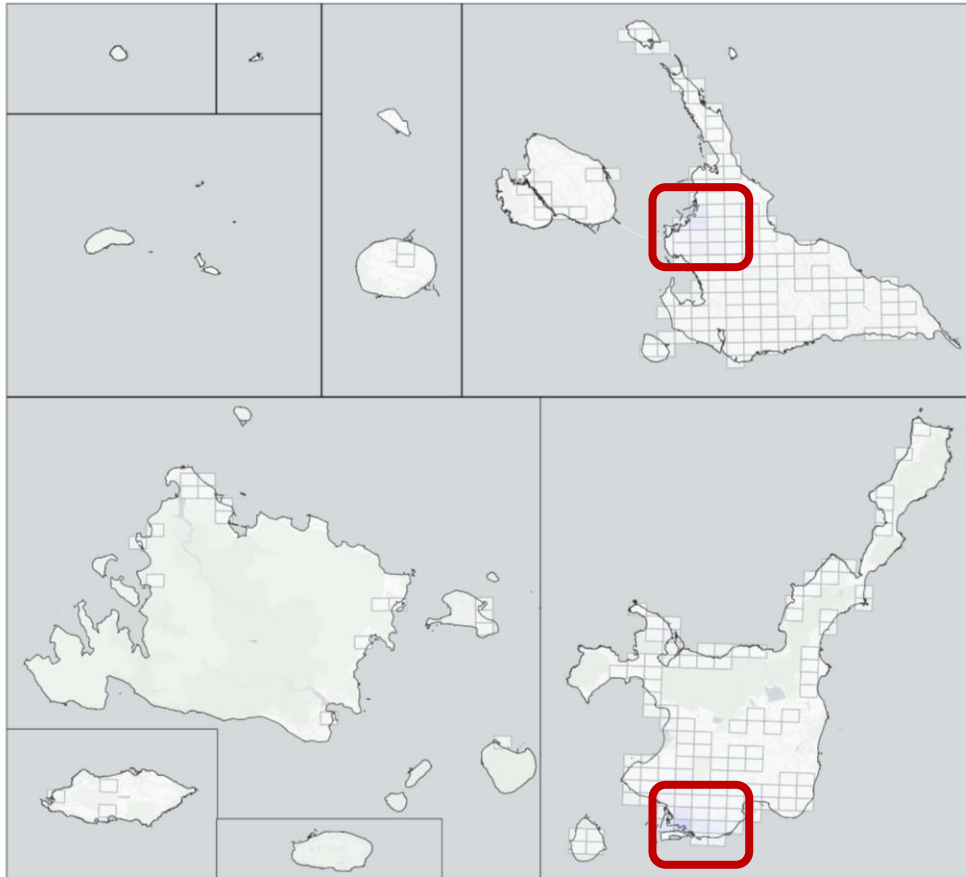
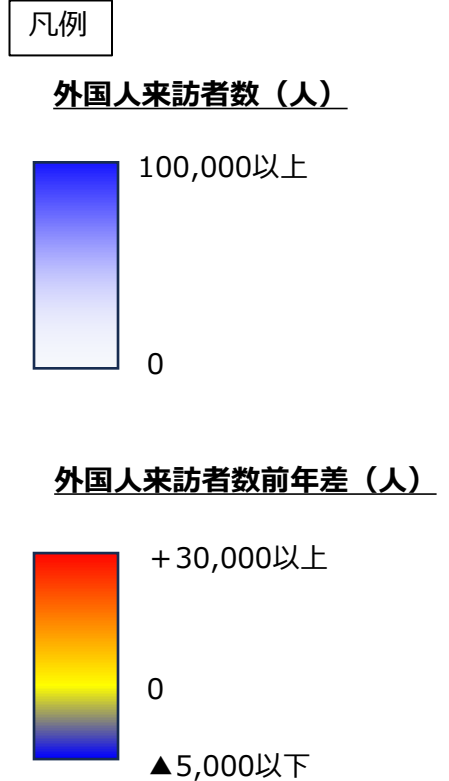
注：メッシュ別外国人来訪者数について

1kmメッシュ毎の来訪者数を集計して表示している。なお、来訪者数は1日単位で集計しこの延べ数を掲載している。このため、同一スポット内に2日間滞在した場合、月間・四半期の来訪者数は2カウントとなる

宮古島市・石垣市の繁華街を有するエリアでは、来訪者数自体は那覇・名護・コザなどの本土の繁華街などと比較すると少ないものの、前年から増加していることが見て取れる。

外国人来訪者数

外国人来訪者数前年差



注：メッシュ別外国人来訪者数について

1kmメッシュ毎の来訪者数を集計して表示している。なお、来訪者数は1日単位で集計しこの延べ数を掲載している。このため、同一スポット内に2日間滞在した場合、月間・四半期の来訪者数は2カウントとなる

最も来訪者数が多かった観光スポットは、東アジアでは「海洋博公園」であったが、東南アジア、欧米豪では、那覇市中心部に位置する「県民広場」であった。

スポット別来訪者構成比ランキング【東アジア】

順位	観光スポット	来訪者数構成比	前年増減率
1	海洋博公園	10.4%	51.0%
2	デポアイランド	7.8%	102.1%
3	県民広場	6.3%	136.4%
4	おきなわワールド	6.1%	116.2%
5	沖縄美ら海水族館	4.3%	127.6%
6	奥武山運動公園	4.1%	30.9%
7	オキちゃん劇場	2.7%	53.3%
8	波の上ビーチ	2.6%	7.3%
9	道の駅豊崎 ていくま館	2.1%	50.3%
10	那覇市伝統工芸館	2.0%	94.5%

スポット別来訪者数構成比ランキング【東南アジア】

順位	観光スポット	来訪者数構成比	前年増減率
1	県民広場	28.8%	908.8%
2	奥武山運動公園	5.7%	145.6%
3	コザ運動公園	5.5%	315.8%
4	牧志公園	4.5%	717.7%
5	海洋博公園	2.2%	196.6%
6	慶良間チージ	2.1%	336.7%
7	波の上ビーチ	2.1%	▲47.2%
8	道の駅豊崎 ていくま館	2.1%	1,060.9%
9	沖縄県総合運動公園	2.0%	8.1%
10	ANA SPORTS PARK浦添	1.9%	11.6%

スポット別来訪者数構成比ランキング【欧米豪】

順位	観光スポット	来訪者数構成比	前年増減率
1	県民広場	17.7%	215.8%
2	デポアイランド	9.6%	29.7%
3	奥武山運動公園	7.2%	7.7%
4	コザ運動公園	4.8%	▲32.5%
5	ぎのわん海浜公園	4.7%	5.7%
6	沖縄県総合運動公園	3.8%	▲52.5%
7	牧志公園	3.8%	319.8%
8	沖縄県立博物館・美術館	2.7%	4.9%
9	新都心公園	2.5%	▲40.9%
10	安良波公園	2.3%	▲43.9%

注：構成比について

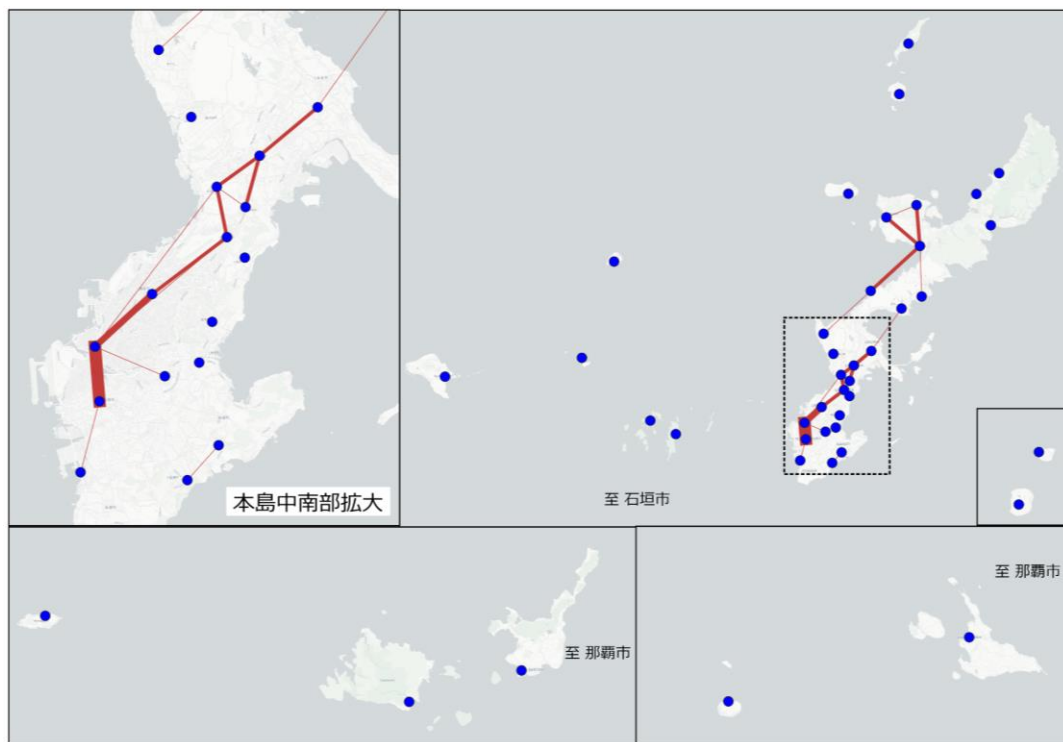
1日・1市町村単位で集計した来訪者数（延べ数）をもとに、エリア毎に2024年度1Qの総数を母数として構成比を算出
 ※同日中に県内2市町村を訪問した場合、また同一市町村内に2日間滞在した場合、月間の来訪者数はいずれも2カウントとなる

外国人観光客
行動歴分析レポート
2024年度1Q（4 - 6月）

4. 滞在・移動ルート分析

来訪者の市町村間の周遊で最も多かったのは、那覇市・豊見城市間の周遊で、以下、那覇市と周辺市町村の間の周遊、名護市と周辺（恩納村・本部町・今帰仁町）間の周遊が上位にあがっている。前年との比較では、名護市・本部町間、那覇市・北谷町間の周遊数が大幅に増加している。

外国人客市町村間周遊数（上位20）（2024年度1Q）



外国人客市町村間周遊数ランキング（2024年度1Q）

順位	市町村間	周遊数構成比 (トリップ)	前年増減率
1	那覇市 ⇄ 豊見城市	9.3%	100.6%
2	那覇市 ⇄ 浦添市	6.3%	52.5%
3	名護市 ⇄ 本部町	3.9%	177.2%
4	宜野湾市 ⇄ 浦添市	3.2%	1.0%
5	宜野湾市 ⇄ 北谷町	3.0%	37.1%
6	沖縄市 ⇄ うるま市	2.9%	▲17.2%
7	名護市 ⇄ 今帰仁村	2.6%	104.7%
8	沖縄市 ⇄ 北中城村	2.6%	▲6.3%
9	名護市 ⇄ 恩納村	2.4%	56.0%
10	沖縄市 ⇄ 北谷町	2.2%	12.1%
11	那覇市 ⇄ 南風原町	2.0%	5.4%
12	糸満市 ⇄ 豊見城市	1.9%	55.2%
13	那覇市 ⇄ 北谷町	1.8%	271.6%
14	那覇市 ⇄ 宜野湾市	1.6%	165.7%
15	北谷町 ⇄ 北中城村	1.6%	24.5%
16	恩納村 ⇄ 読谷村	1.4%	45.7%
17	うるま市 ⇄ 金武町	1.4%	5.0%
18	今帰仁村 ⇄ 本部町	1.4%	188.1%
19	名護市 ⇄ 宜野座村	1.4%	32.6%
20	南城市 ⇄ 八重瀬町	1.3%	42.9%

注：構成比について

同一旅程にて複数の市町村を来訪した人数をカウントし、市町村単位で集計した2024年度1Qの総数を分母として構成費を算出

※3市町村以上来訪した場合は、直前・直後に訪問した市町村のみ集計対象とする。そのため、A→B→Cの場合、A→B、B→Cでそれぞれ1カウントとするが、A→Cはカウントしない

市町村間周遊数ランキング【東アジア】

順位	市町村間	周遊数構成比 (トリップ)	前年増減率
1	那覇市 ⇄ 豊見城市	9.9%	107.8%
2	那覇市 ⇄ 浦添市	6.3%	58.9%
3	名護市 ⇄ 本部町	4.2%	186.1%
4	宜野湾市 ⇄ 浦添市	2.9%	▲1.9%
5	名護市 ⇄ 今帰仁村	2.8%	104.3%
6	宜野湾市 ⇄ 北谷町	2.7%	52.1%
7	沖縄市 ⇄ うるま市	2.7%	▲10.5%
8	名護市 ⇄ 恩納村	2.6%	56.6%
9	沖縄市 ⇄ 北中城村	2.5%	1.9%
10	糸満市 ⇄ 豊見城市	2.1%	61.4%

市町村間周遊数ランキング【東南アジア】

順位	市町村間	周遊数構成比 (トリップ)	前年増減率
1	那覇市 ⇄ 浦添市	10.1%	158.5%
2	那覇市 ⇄ 豊見城市	8.4%	193.0%
3	宜野湾市 ⇄ 浦添市	6.0%	139.8%
4	那覇市 ⇄ 宜野湾市	4.0%	404.6%
5	沖縄市 ⇄ うるま市	3.9%	▲13.8%
6	沖縄市 ⇄ 北中城村	3.1%	64.9%
7	那覇市 ⇄ 南風原町	2.9%	64.3%
8	宜野湾市 ⇄ 北谷町	2.8%	8.3%
9	沖縄市 ⇄ 北谷町	2.6%	63.6%
10	北谷町 ⇄ 北中城村	2.1%	334.3%

市町村間周遊数ランキング【欧米豪】

順位	市町村間	周遊数構成比 (トリップ)	前年増減率
1	沖縄市 ⇄ 嘉手納町	6.9%	▲14.8%
2	沖縄市 ⇄ 北谷町	6.2%	▲11.5%
3	宜野湾市 ⇄ 北谷町	6.1%	1.9%
4	宜野湾市 ⇄ 浦添市	5.3%	21.8%
5	沖縄市 ⇄ うるま市	5.1%	▲42.9%
6	那覇市 ⇄ 浦添市	5.0%	▲46.1%
7	嘉手納町 ⇄ 北谷町	4.9%	▲67.1%
8	読谷村 ⇄ 嘉手納町	4.1%	▲9.5%
9	那覇市 ⇄ 豊見城市	3.6%	▲41.0%
10	北谷町 ⇄ 北中城村	3.6%	▲44.3%

注：構成比について

同一旅程にて複数の市町村を来訪した人数をカウントし、市町村単位で集計した2024年度1Qの総数を分母として構成費を算出

※3市町村以上来訪した場合は、直前・直後に訪問した市町村のみ集計対象とする。そのため、A→B→Cの場合、A→B、B→Cでそれぞれ1カウントとするが、A→Cはカウントしない